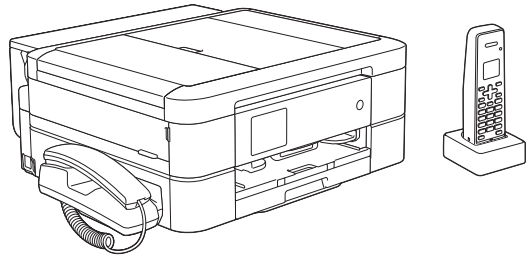


brother

かんたん操作ガイド

MFC-J738DN
MFC-J738DWN
MFC-J998DN
MFC-J998DWN



本書はいつでも手に取って見ることができるように、本製品の近くに置いてください。



ユーザーズガイド 応用編 パソコン活用&ネットワーク

本書で説明されていない機能、および仕様情報については「ユーザーズガイド 応用編」または「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」をご覧ください。

support.brother.co.jp/j/d/b4m2/



マニュアルの構成

名前	内容	場所
安全にお使いいただくために	このガイドをはじめにお読みください。本製品の設定を行う前に「安全にお使いいただくために」をお読みください。商標や法的制限事項についてはこのガイドを参照してください。	印刷物/製品付属
かんたん設置ガイド	本製品の設置方法、お使いの OS や接続方式での フルパッケージダウンロード のインストール方法について説明しています。	印刷物/製品付属
かんたん操作ガイド	パソコンからの印刷、デジカメプリント、スキャン、コピー、ファクスの基本的な操作方法と、本製品のお手入れについて説明しています。また、トラブルの対処方法についても説明しています。	印刷物またはブラザーインストール CD/製品付属
ユーザーズガイド 応用編	かんたん操作ガイドで説明していない機能について説明しています。本製品が持つ便利な機能を最大限に使いこなしてください。	サポートサイト（ブラザーソリューションセンター） ¹
ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク	本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法について、詳しく説明しています。 また、本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法、クラウド接続、モバイル機能やモバイルプリント&スキャンについて説明しています。	

¹ support.brother.co.jp/j/d/b4m2/にアクセスしてください。

最新のドライバー/ファームウェアの更新について

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）にアクセスし、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロード**ページから最新のドライバーをダウンロードしてお使いください。また、製品を最新に保つため、最新のファームウェアをダウンロードすることをお勧めします。

問題やご質問がありますか？サポートサイトのよくあるご質問(Q&A)や動画をご覧ください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）にアクセスし、お使いのモデルのよくあるご質問 (Q&A) ページをご覧ください。

- 色々な方法で検索できます
- 質問に関連する情報を表示します
- お客様の声をもとに定期的に更新しています

重要事項

本ガイドでは、主に MFC-J998DN のイラストが使用されています。

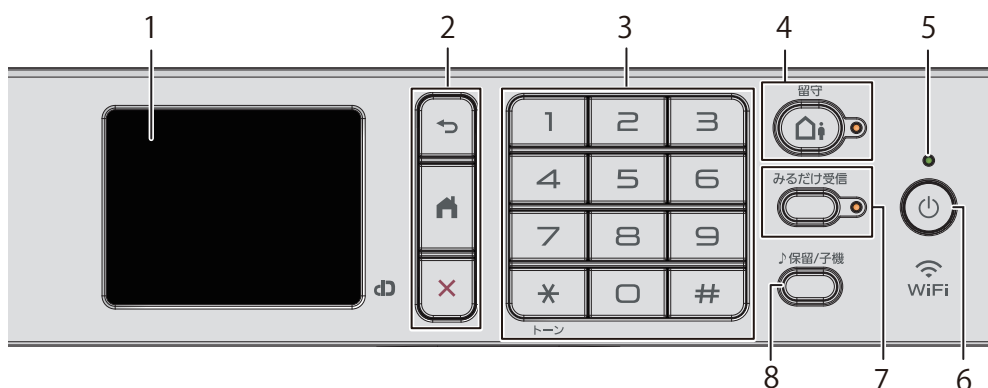
目次

1	ご使用の前に	1
	操作パネル	1
	ホーム画面	2
	タッチパネルの操作	3
	操作パネル（子機）	4
	画面（子機）	6
	子機の設置場所	6
	日時を設定する	6
	音量を設定する	7
2	紙の取り扱い	9
	用紙のセット	9
	用紙サイズと用紙タイプを変更する	10
	原稿のセット	11
3	プリント	13
	パソコンから印刷する	13
	印刷する(Windows®)	13
	印刷する(Mac)	13
	いろいろな印刷	13
	はがき（年賀状）に印刷する	13
	レーベルプリント	14
4	コピー	15
	コピーする	15
	設定を変えてコピーするには	15
5	スキャン	16
	スキャンの前に	16
	パソコンからのスキャン	16
	スキャンしたデータをパソコンに保存する	16
6	デジカメプリント	17
	写真をプリントする	17
	メディア内の写真を見る／プリントする	17
	印刷設定の変更について	17

7 電話	18
通話の前に	18
保留／着信メロディを設定する	18
電話／ファクス回線種別を設定する	18
留守モードと在宅モード	18
電話とファクスの受け方を設定する	19
呼出ベル回数を設定する	19
再呼出の設定をする	19
ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）	20
電話をかける	21
電話を受ける	21
通話を保留にする	22
通話を録音する	22
電話帳に登録する	23
電話帳を利用する	24
親機の電話帳を子機へ転送する	24
いろいろな電話のかけ方	25
受話器を置いたままかける	25
プッシュホンサービスを利用する	25
スピーカーホン通話に切り替える（子機のみ）	25
受話音質を調節する（子機のみ）	25
内緒話モードを設定する（子機のみ）	26
電話を取り次ぐ	26
用件を伝えずに電話を取り次ぐ	27
内線通話をする	27
3人で同時に話す	28
かかってきた電話を拒否する	29
通話前に電話を拒否する	29
通話中に電話を拒否する	30
ナンバーディスプレイサービスを利用する	30
着信鳴り分けを設定する	30
迷惑電話指定する	31
キャッチホンを利用する	32
キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する	32
8 留守番機能	34
留守番機能の設定	34
メッセージの録音時間を設定する	34
応答メッセージを録音する	34
留守録モニターを設定する	35
留守番機能をセット/解除する	36
留守番機能をセットする	36
留守番機能を解除する	36

	留守録メッセージを再生／消去する	36
	音声メッセージを確認する	37
9	ファクス	38
	ファクスの前に	38
	発信元を登録する	38
	ファクスを送る	38
	複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）	39
	みるだけ受信	40
	みるだけ受信をオンにする	40
	画面で新着ファクスを見る	40
	ファクスレポート	42
A	日常のお手入れ	43
	印刷品質をチェックする	43
	罫線ずれ、文字ぶれを改善する	44
	給紙ローラーを清掃する	44
B	こんなときは	46
	こんなときは	46
	画面にメッセージが表示されたときは	47
	受話器（親機）を取り外す	55
	受話器台を取り付ける	55
	子機のバッテリーを交換する	56
	使用済み電池の届け出	57
	本製品を初期状態に戻す	57
	リセット機能の概要	57
	子機の個人情報を消去する	58
	子機を増設する／登録抹消する	58
C	付録	60
	文字入力について	60
	消耗品のご案内	62
	アフターサービスのご案内	63
	製品登録	63
	各種サポート情報	63
	ブラザーコールセンター	63
	安心と信頼の修理サービス	63

操作パネル



1. タッチパネル液晶ディスプレイ（LCD）

画面に直接タッチして各設定を行います。

2. メニューボタン



（戻る）

前のメニューに戻るときに押します。



（ホーム）

ホーム画面に戻るときに押します。



（キャンセル）

処理中の動作を中止するときには押します。

3. ダイヤルパッド

ダイヤルするときや各種設定の数値入力時に使用します。

4. 留守ボタン／LED ランプ

留守モードにするときにボタンを押します。留守モードになると、LED が点灯します。留守モード中に新しく録音された音声メッセージがあるときは、LED が点滅します。

5. LED インジケータ

製品の状態に応じて LED が点灯します。

スリープモードになっている場合は、LED が点滅します。

6. 電源ボタン



を押して本製品の電源を入れます。



を押して長押しして、本製品の電源を切ります。画面上に「電源をオフにします」と表示され、数秒間経ってから製品の電源が切れます。



を使って電源をオフにした場合、印刷品質を維持するために定期的にプリントヘッドのクリーニングが行われます。プリントヘッドを長持ちさせ、インク効率を良くし、印刷品質を維持するため、本製品は常時電源に接続しておいてください。

7. みるだけ受信ボタン／LED ランプ

「みるだけ受信」が設定されている場合、ファクスを受信すると LED が点滅して知らせます。ボタンを押すと、ファクスを見ることができます。

8. 保留/子機ボタン

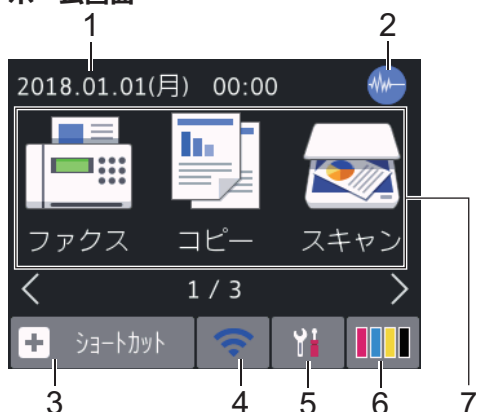
通話を保留にするとき、子機を呼び出すときに押します。

ホーム画面

◀または▶を押すと、ホーム画面を切り替えることができます。

ホーム画面からは、Wi-Fi®設定、ショートカット、インク残量および設定画面を表示することができます。

ホーム画面



製品が待機状態の場合、ホーム画面に製品の状態が表示されます。この画面が表示されているとき、製品は次の操作の準備ができています。

1. 日付と時刻

本製品に設定された日付と時刻が表示されます。

2. 静音モード

このアイコンは、「静音モード」が「オン」に設定されているときに表示されます。

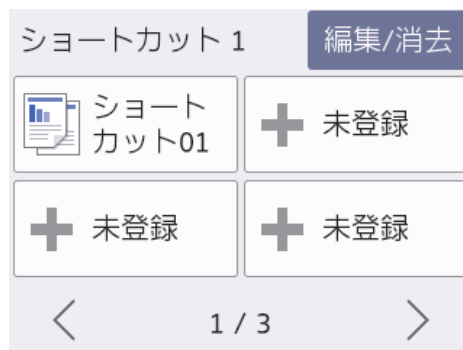
静音モードでは、印刷時の音を軽減することができます。静音モードが有効なときは、印刷速度が遅くなります。

3. [+] [ショートカット]

ファクス送信、コピー、スキャン、クラウド接続機能など、よく使用する機能のショートカットを作成します。



- 3つのショートカット画面があります。各画面で4つのショートカットを登録することができます。



- ◀または▶を押すと、他のショートカット画面を表示することができます。

4. 無線 LAN 状態

下記の表中の各アイコンは、無線ネットワークの状態を示しています。

	お使いの製品は無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに接続されていません。 このボタンを押して、無線設定を変更します。詳しい説明は「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
	無線ネットワークに接続しています。 各ホーム画面に3段階のインジケータが表示され、現在の無線信号の強さをあらわします。
	無線 LAN アクセスポイントまたはルーターを検出できません。
	無線設定が無効になっています。



無線 LAN 状態ボタンを押すと、無線の設定をすることができます。

5. [メニュー]

押すと「メニュー」にアクセスすることができます。

6. [インク]

使用可能なインクの残量を表示します。押すと[インク]メニューにアクセスすることができます。

インクカートリッジの寿命が近づくか、または問題が起きると、インクの各色にエラーアイコンが表示されます。

7. モード：

押すと各モードに切り替わります。

[ファクス] / [コピー] / [スキャン] / [デジカメプリント] / [クラウド] / [お役立ちツール] / [年賀状アプリ] / [ソフトウェアダウンロード]

[クラウド]と[お役立ちツール]について詳しくは、ユーザーズガイド パソコン活用 & ネットワークをご覧ください。

8. お知らせアイコン



[ブラザーからのお知らせ]や[ファームウェア更新通知]を[オン]に設定すると、ブラザーからの新着のお知らせが表示されます。

(インターネット接続が必要となり、通信料金がかかります。)

 を押すと詳細が表示されます。

9. 警告アイコン



警告アイコン  は、エラーまたはメンテナンスメッセージがあるときに表示されます。詳細を見るには  を押し、 を押すとホーム画面に戻ります。

タッチパネルの操作

画面を指で押して操作します。オプションを表示させ、選択するには、画面上の◀▶または▲▼を押してその方向に画面を送ります。

重要

ペンや針等のとがったもので画面を押さないでください。製品が損傷するおそれがあります。

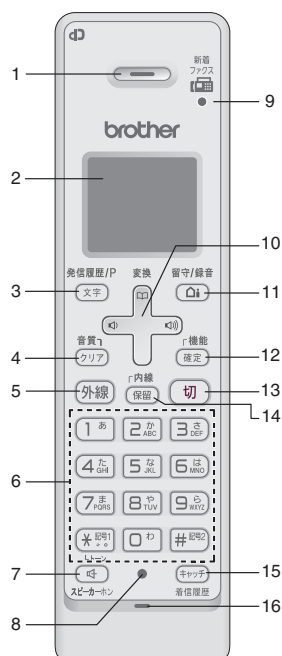
お願い

電源コードを差し込んだ直後、または電源を入れた直後は、すぐには画面に触らないでください。エラーを起こすおそれがあります。



本製品は ARPHIC TECHNOLOGY CO., LTD.のフォントを採用しています。

操作パネル（子機）



1. 受話口

通話中に耳にあて、ここから声を聞きます。

2. 画面

子機の状態やメニュー項目、メッセージなどを表示します。

3. 再ダイヤル／発信履歴／文字切替／ポーズ入力ボタン

待機中

最近かけた相手（最大 10 件）を検索し、ダイヤルします。

文字入力中

入力文字の種類（英・カナ・かな）を切り替えます。

ダイヤル中／電話帳登録中

ポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入力します。

通話中

「ツー音」が鳴っているときに押して、最後にかけた相手に発信します。（リダイヤル）

4. クリア／音質ボタン

文字入力中

文字を消します。

通話中

相手の声の聞こえかたを調整することができます。長押しすると内緒話モードになり、小さい声での会話が可能になります。

メニュー操作中

「再生/消去」メニューおよび「留守番設定」メニューの操作中に押すと、1 つ前の画面に戻ることができます。

5. 外線ボタン

電話をかけるときや受けるときに押します。電話がかかってくると点滅します。

6. ダイヤルパッド

ダイヤルするときや文字や記号を入力するときに押します。



一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）に切り替えることができます。

7. スピーカーホンボタン

子機を持たずに通話したいときに押します。通話中に押すと通常の通話に切り替わります。

8. 充電ランプ

充電中は点灯します。

9. ファクス受信ランプ

ファクスを受信すると点滅して知らせます。

10. マルチセレクトボタン

機能設定中

「上下」を押して項目を選択します。

電話帳ボタン

待機中

「上下」を押して電話帳を開きます。

文字入力中

「上下」を押すと漢字変換ができます。

音量ボタン

「左右」を押して着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整します。

文字入力中

カーソルを移動します。

11. 留守／録音ボタン

待機中（電話がかかってきたときに子機を取る前を含む）

留守モードのオン／オフを切り替えます。留守モードの解除時、留守中に入ったメッセージが自動的に再生されます。留守モード中は点灯、留守中に録音されたメッセージがあるときは点滅して知らせます。

外線通話中

会話の録音を開始します。

12. 機能／確定ボタン

待機中

子機のメニュー操作（機能設定）を開始するときと、設定内容を確定するときに押します。

着信中

電話を取る前に押すと、相手と話さずに通話拒否（おことわり）ができます。

通話中

通話拒否（おことわり）またはファクス受信をするときに押します。

13. 切ボタン

電話を切るとき、メニュー操作を中止するときに押します。

14. 内線／保留ボタン

内線通話、外線保留にするときに押します。

15. キャッチ／着信履歴ボタン

キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。

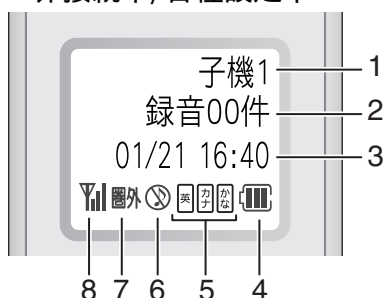
※これらの機能を利用するためには、電話会社とのキャッチホン機能およびナンバーディスプレイ機能の契約が必要となります。

16. マイク（送話口）

子機を持って通話するときやスピーカーホンで通話するときに使用します。

画面（子機）

—非接続中/各種設定中—



※上図の表示は、すべてが同時に
出るわけではありません。

—外線接続中—



1. 内線番号（子機名）
2. メモリー内の留守録メッセージおよび録音した会話の保存件数
3. 日時表示
4. バッテリーの残量の目安
〈バッテリー残量の目安〉
■：20%以上 ■：20%未満
■：10%未満 □：要充電
5. 現在入力できる文字の種類

文字種は ^{発信履歴/P} [文字] を押して切り替えます。

[かな]：ひらがな(全角)と、変換キーを使用することにより漢字および記号が入力できます。

[カナ]：カタカナ(半/全角)および記号が入力できます。

[英]：アルファベット(大/小文字)、記号および数字が入力できます。

6. 着信音量 OFF
着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。
7. 圏外
電波の届かない場所にいるときに表示されます。
8. 電波状態

通話中の電波の状態を表示します。

9. 外線接続時間

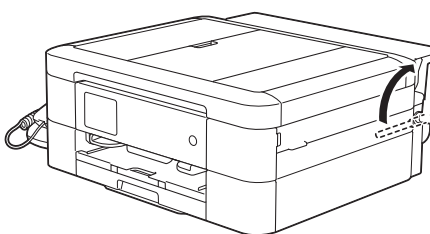
外線接続時間の目安（相手につながってからの時間ではなく子機の [外線] を押してから経過時間）を表示します。

子機の設置場所

子機（充電器）を設置するときは、以下のよう
な点に注意してください。

- ・親機のアンテナを立ててください。

アンテナを立てていないと、電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ることがあります。



- ・親機から障害物のない直線距離で約 100m 以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺環境によっては電波の届く範囲が短くなることがあります。

親機と子機の間で内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。

- ・子機は親機や他の子機から離して（推奨 3m 以上）設置してください。

日時を設定する

画面に日付と時刻が表示されます。現在の日時とずれている場合は、再設定してください。発信元登録がしてあれば、ファクスを送信したときに日時が印刷されます。

親機の場合

1



[メニュー]を押します。

- 2  [時計セット]を押します。
- 3 [日付]を押します。
- 4 画面で西暦の下 2 桁を押し、[OK]を押します。
- 5 画面で月を 2 桁で押し、[OK]を押します。
- 6 画面で日付を 2 桁で押し、[OK]を押します。
- 7 [時刻]を押します。
- 8 画面で時刻を 24 時間制で押します。
[OK]を押します。
(例：午後 7:45 の場合は、19:45 と入力します。)

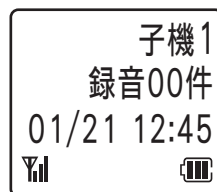
- 9  を押します。

子機の場合

- 1  を押します。
- 2  で [時計設定] を選び、 を押します。
- 3 日付を入力し、 または  を押します。
2019 年 1 月 21 日の場合は、
 と押します。
- 4 時刻を 24 時間制で入力し、 を押します。
午後 0 時 45 分の場合は、
 と押します。

- 5  を押します。

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。



- 数字を入れ間違えたときは、 で間違えた箇所までカーソルを移動し、入力し直してください。
- 設定を途中で中止するときは、 を押してください。

音量を設定する

親機の音量を設定する

- 1  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [音量]を押します。
- 2 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	説明
[着信音量]	着信時のベルの音量を調整します。
[ボタン確認音量]	ボタンを押したとき、操作を誤ったとき、またはファクスを送受信した後に鳴る確認音量を調整します。
[スピーカー音量]	スピーカーの音量を調整します。
[受話音量]	受話器を持って通話するときの音量を調整します。

3 ▲または▼を押して[切]、[小]、[中]、または[大]を表示させ、使用したい設定を選択します。

4  を押します。

子機の着信音量を設定する

1  を繰り返し押して音量を選びます。
音量はオフ [□□□□] を含めて 5 段階から選べ、オフにすると画面に  が表示されます。

子機のボタン確認音を設定する

- 1  を押します。
- 2  で[鳴動音設定]を選び、 を押します。
- 3  で[ボタン確認音]を選び、 を押します。
- 4  で[ON]または[OFF]を選び、 を押します。
- 5  を押します。

子機のスピーカー音量を設定する

- 1  を押します。
スピーカーホン
- 2  を繰り返し押して音量を選びます。
スピーカー音量は 4 段階から選べます。

3 通話中の変更であれば、そのまま通話を続け、通話中でなければ、 を押します。

子機の受話音量を設定する

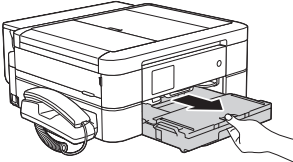
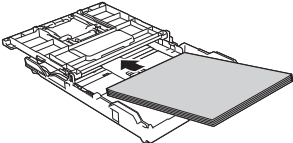
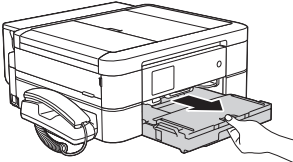
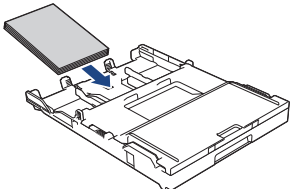
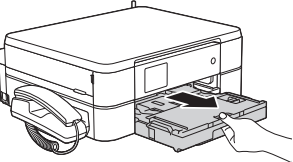
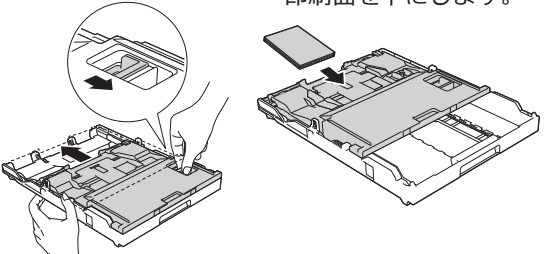
1 通話中に  を押して音量を選びます。
受話音量は 4 段階から選べます。

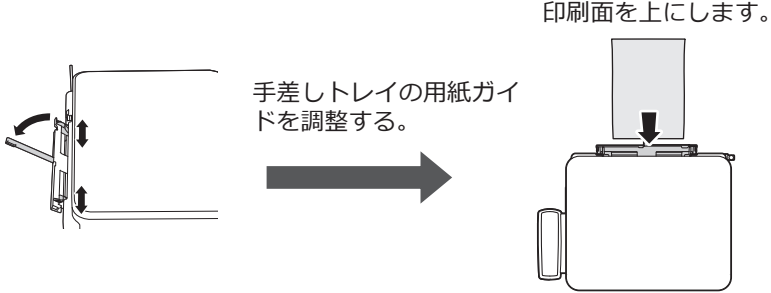
用紙のセット

1 以下の手順に従って、用紙トレイに用紙をセットします。

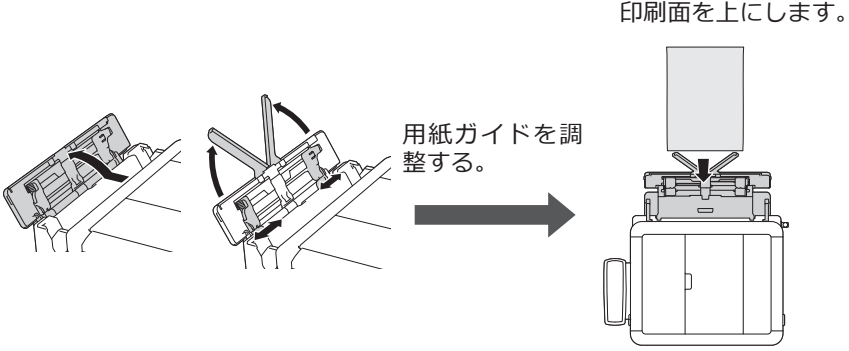


用紙をよくさばきます。

用紙トレイ#1	用紙のセット方法	
A4／レター B5/B6 (JIS) A5/A6 2L 判 インデックスカード 封筒 往復ハガキ		用紙ガイドを調整する。 印刷面を下にします。 
ポストカード L 判 (MFC-J998DN/ MFC-J998DWN) ハガキ		用紙ガイドを調整する。 印刷面を下にします。 
スライドトレイ (MFC-J738DN/ MFC-J738DWN)	用紙のセット方法	
ポストカード L 判 ハガキ		スライドトレイを完全に奥にずらす。 印刷面を下にします。 

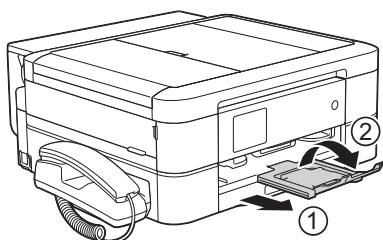
手差しトレイ ¹ (MFC-J738DN/ MFC-J738DWN)	用紙のセット方法
A4/レター B5/B6 (JIS) A5/A6 ポストカード L判/2L判 インデックスカード 封筒 ハガキ 往復ハガキ	 印刷面を上に出します。 手差しトレイの用紙ガイドを調整する。

1 一度に **1 枚**だけ手差しトレイにセットします。

多目的トレイ (MFC-J998DN/ MFC-J998DWN)	用紙のセット方法
A4/レター B5/B6 (JIS) A5/A6 ポストカード L判/2L判 インデックスカード 封筒 ハガキ 往復ハガキ	 印刷面を上に出します。 用紙ガイドを調整する。

詳しい説明は、ユーザズガイド応用編をご覧ください。

- 2** 排紙ストッパーを開きます。必要に応じて、製品のメニューで用紙サイズの設定を変更します。



用紙サイズと用紙タイプを変更する

用紙トレイの用紙サイズと用紙タイプを設定します。

- 使用している用紙タイプを本製品に設定することで、高い印刷品質を得ることができます。
- トレイにセットする用紙のサイズを変更した場合、同時に画面で用紙サイズ設定を変更する必要があります。

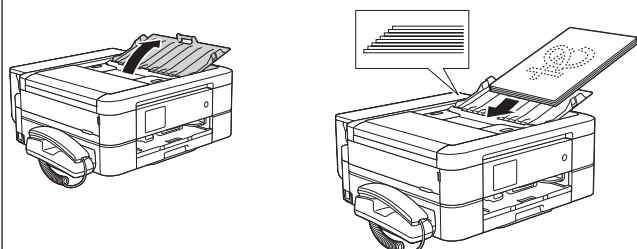
- 1 (MFC-J998DN/MFC-J998DWN)  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [用紙トレイ設定] を押します。
- 2 (MFC-J738DN/MFC-J738DWN)  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] を押します。
- 3 設定したいトレイオプションを押します。(MFC-J998DN/MFC-J998DWN)
- 4 [用紙タイプ] を押します。
- 5 ▲または▼を押して用紙タイプのオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。
- 6 [用紙サイズ] を押します。
- 7 ▲または▼を押して用紙サイズのオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。
- 8  を押します。

 用紙は、印刷面を上にして、製品の前部にある用紙トレイの上に排紙されます。光沢紙を使用している場合は、汚れや紙詰まりを避けるため、用紙が排紙されたらすぐに取り出してください。

原稿のセット

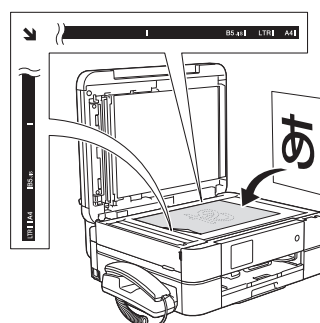
イラストのように、原稿を ADF(自動原稿送り装置)または原稿台ガラスに置きます。

**ADF(自動原稿送り装置)
(MFC-J998DN/MFC-J998DWN)**



原稿の読み取りたい面を下にして、ADF(自動原稿送り装置)にセットします。

原稿台ガラス



原稿の読み取りたい面を下にして、原稿台ガラスの左奥に合わせてセットします。

パソコンから印刷する

印刷操作を始める前に、以下を確認します。

- ブラザーのソフトウェアおよびドライバーがインストールされていること
- USB またはネットワークケーブルが正しく接続されているか、無線 LAN アクセスポイント/ルーターを使ってネットワークに接続していること

印刷する(Windows®)

- 1 アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
- 2 **Brother XXX-XXXX** を選択します (XXXX は、モデル名)。
- 3 **印刷**をクリックします。
- 4 印刷操作を完了します。

印刷する(Mac)

- 1 アプリケーションから、**ファイルメニュー**をクリックし、**プリント**を選択します。
- 2 **Brother XXX-XXXX** を選択します (XXXX は、モデル名)。
- 3 **プリント**をクリックします。
- 4 印刷操作を完了します。

いろいろな印刷

印刷プロパティまたは詳細設定ボタンをクリックして印刷設定を変更し、さまざまな印刷機能を使用することができます。

自動両面印刷

(MFC-J998DN/MFC-J998DWN)



1 枚の用紙に複数ページを印刷する (N in 1)



Windows®の場合：

詳しい説明は、ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークの「パソコンから印刷する (Windows®)」をご覧ください。

Mac の場合：

詳しい説明は、ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークの「パソコンから印刷する (Mac)」をご覧ください。

はがき (年賀状) に印刷する

- 1 はがきをトレイにセットします。
 - 用紙トレイ、スライドトレイ：
 印刷したい面を下にしてセットします。

例：宛名面に住所を印刷する場合

本体側



宛名面を伏せて、
郵便番号欄を
本体側に向ける

- 手差しトレイ：

印刷したい面を上にしてセットします。

例：宛名面に住所を印刷する場合



- 多目的トレイ：

印刷したい面を上にしてセットします。

例：宛名面に住所を印刷する場合



セットのしかたについては、⇒ユーザーズガイド 応用編「用紙トレイにセットする」

2 必要に応じて設定を変更し、印刷します。

お願い

はがき印刷のあと、タイプやサイズの違う用紙に印刷するときは、プリンタードライバーの**用紙種類**および**用紙サイズ**を設定し直してください。

レーベルプリント

関連モデル：

MFC-J998DN/MFC-J998DWN

本製品は、CD-R/RW、DVD-R/RW または Blu-ray Disc™を含む印刷面のある記録ディスクに印刷することができます。

印刷方法については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークをご覧ください。

コピーする

1 用紙トレイに正しいサイズ of 用紙がセットされているかを確認します。

2 原稿をセットします。

3  [コピー] を押します。

以下の画面が表示されます：



4 必要に応じてコピー設定を変更します。

 A4 サイズの普通紙以外をセットしている場合は、[設定変更] を押して、[用紙サイズ] および [用紙タイプ] 設定を変更する必要があります。

- **x01** (コピー枚数)

x01 を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK] を押します。

画面の [-] または [+] 押すか、またはダイヤルパッドの番号を使うこともできます。

- [設定変更]

設定変更 を押すと、次のコピーのみ設定が変更されます。

設定が完了したら、[OK] を押します。

 新しい設定の選択を完了したあと、[ショートカット登録] ボタンを押して設定を保存することができます。

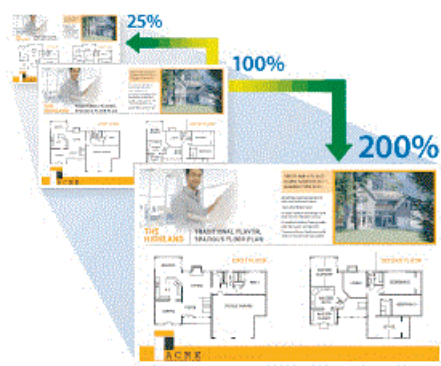
5 [モノクロ スタート] または [カラー スタート] を押します。

 コピーを停止するには、 を押します。

設定を変えてコピーするには

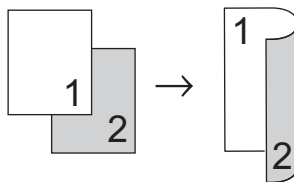
コピー設定を変更することで、さまざまなコピー機能を使用することができます。[設定変更] ボタンを押します。

拡大/縮小コピー



両面コピー

(MFC-J998DN/MFC-J998DWN)



詳しい説明は、ユーザーズガイド応用編のコピー一章をご覧ください。

スキャンの前に

スキャンを始める前に、以下を確認します。

- ブラザーのソフトウェアおよびドライバーがインストールされていること
- USB またはネットワークケーブルが正しく接続されているか、無線 LAN アクセスポイント/ルーターを使ってネットワークに接続していること

パソコンからのスキャン

本製品を使って写真や原稿をスキャンする際にお手持ちのパソコンを利用できる方法がいくつかあります。ブラザーから提供されているソフトウェアアプリケーション、またはお好きなスキャンアプリケーションを使用します。

詳しい説明は、ユーザーズガイド パソコン活用 & ネットワークの「お使いのパソコンからスキャンする (Windows®)」または「お使いのパソコンからスキャンする (Mac)」をご覧ください。

スキャンしたデータをパソコンに保存する

- 1 原稿をセットします。
- 2 [スキャン] > [PC] > [ファイル] を押します。
- 3 本製品がネットワークに接続されている場合、▲または▼を押して、スキャンしたデータを送信するパソコンを表示させ、該当のパソコン名を押します。



画面上でパスワードの入力を求められた場合、パソコンで設定している4桁のパスワードを入力し、[OK]を押します。

- 4 以下のいずれかを行ってください：

- 設定を変更するには、[設定変更]または[本体から設定]を押して次の手順に進みます。
- 現在の設定のままスキャンする場合は、[スタート]を押して、スキャンを開始します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用している場合は、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を終了します。



[設定変更]または[本体から設定]設定を使うには、ControlCenter4 (Windows®) または Brother iPrint&Scan (Mac) がインストールされたパソコンを製品に接続する必要があります。

- 5 必要に応じて、カラー設定、解像度、ファイル形式、および原稿サイズ等のスキャン設定を変更します。設定が完了したら、[OK]を押します。
- 6 [スタート]を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用している場合は、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を終了します。

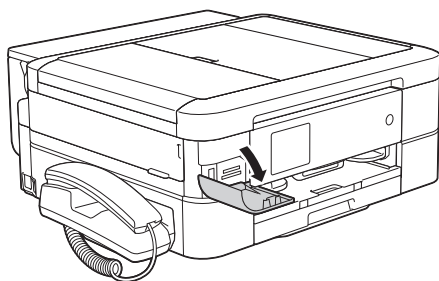
写真をプリントする

メディア内の写真を見る／プリントする

印刷する前に画面で写真を閲覧できます。

USB フラッシュメモリーは特定モデルのみ対応しています (MFC-J998DN/MFC-J998DWN)。

- 1 メディアスロットカバーを開きます。



- 2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、スロットに差し込みます。
- 3 「デジカメプリント」 > 「画像選択」を押します。
- 4 ◀または▶を押して印刷したい写真を表示し、選択します。

 全ての写真を印刷するには、「全選択」を押し、「はい」を押して確定します。

- 5 × 01 を押して画面にキーボードを表示させ、キーボードを使って部数を入力します。[OK]を押します。

画面の[-] または [+] を押すか、ダイヤルパッドの数字を使うこともできます。

- 6 [OK]を押します。

- 7 印刷したいすべての写真を選択するまで直近の3手順を繰り返します。

- 8 [OK]を押します。

- 9 オプションの一覧が表示されるので確認します。

- 10 印刷設定を変更するには、「印刷設定」を押します。

完了したら、「OK」を押します。

- 11 「スタート」を押します。

印刷設定の変更について

変更した印刷設定は、現在の印刷のみに有効な一時的なものです。印刷が完了すると、初期値の設定に戻ります。



頻繁に使用する印刷設定は、初期値に設定して保存することができます。

詳しい説明は、ユーザズガイド応用編をご覧ください。

通話の前に

保留／着信メロディを設定する

電話の保留音と着信音を設定します。

設定方法について、詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「着信音と保留音を設定する」

電話／ファクス回線種別を設定する

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

- 1 受話器を取り「ツー」という音が聞こえることを確認します。



「ツー」という音が聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。

正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

- 2 受話器を戻します。

- 3 回線種別を確認します。

これまで
お使いの
電話機は？



押しボタン式 回転ダイヤル式

ダイヤル
したときの
音は？

受話器から
「ビッポッパ」
と音がする

受話器から
「ビッポッパ」
と音がしない

お使いの
電話
回線は、
右のと
おりです。

プッシュ回線

ダイヤル回線

本製品を20PPSに
設定して、177 (天
気予報) にかける
＜通話料金がかかります＞

つながる

つながらない

設定する
回線種別

プッシュ
回線に
設定

ダイヤル
回線
20PPSに
設定

ダイヤル
回線
10PPSに
設定

- 4 [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [回線種別設定] を押します。

- 5 設定する回線種別を押します。



- ・ 回線種別がわからないときは、種別を順に設定してみてください。
- ・ ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、[プッシュ回線] に設定してください。

- 6 を押します。

回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報) などにつながることをご確認ください。(通話料金がかかります。)

留守モードと在宅モード

本製品は、留守番機能がセットされている場合を「留守モード」、セットされていない場合を「在宅モード」としています。「留守モード」と

「在宅モード」では、呼出ベル回数や回線につながった後の動作が異なります。留守モードの設定方法について、詳しくは、留守番機能章をご覧ください。

電話とファクスの受け方を設定する

本製品を電話専用またはファクス専用で使用するときは、ガイドに沿って電話とファクスの受け方を設定できます。

- 1  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [かんたんファクス設定] を押します。

- 2 画面の指示に従って、設定を進めます。

呼出ベル回数を設定する

本製品が応答してから、回線が自動的につながる（電話かファクスかを区別する）までに鳴る着信音の回数を設定します。

呼出ベル回数を 0 回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけベル音を鳴らすことができます。なお、電話のときは本製品で電話を取らなくても相手に料金がかかります。

- 1  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [呼出ベル回数] を押します。

- 2 「在宅モード」を押します。

- 3 呼出ベル回数を選びます。

- [0～15 (回)]

設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。

- [無制限]

受話器を取るまで着信音が鳴り続けます。受話器を取ると回線につながります。

- 4 「留守モード」を押します。

- 5 呼出ベル回数を選びます。

- [0～7 (回)]

設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。

- [トールセーバー]

外出先から留守録メッセージの有無を確認できるモードです。

- 6  を押します。

トールセーバーを利用する

トールセーバーとは、留守番機能がセットされているときに、外出先から留守録メッセージが入っているかどうかを呼出音の回数で確認できる機能です。

外出先からメッセージの有無を確認するときは、自宅に電話をかけて、留守応答メッセージが再生されるまでの呼出ベル回数を確認します。

- 2 回：音声メッセージがある
- 5 回：音声メッセージがない

呼出音の 3 回目か 5 回目が鳴った時点で、留守録メッセージがないことがわかります。留守応答メッセージが再生される前に電話を切れば、通話料金がかかりません。

呼出音が 2 回鳴って電話がつながったときは、留守録メッセージがあることがわかります。この場合は通話料金はかかりますが、リモコンアクセスを利用すれば外出先から本製品を操作して留守録メッセージを確認することもできます。

⇒ユーザーズガイド 応用編「外出先から本製品を操作する」

再呼出の設定をする

着信を知らせる呼出音が設定された回数鳴ったあと、本製品は電話かファクスかを判断するために自動的に電話回線を接続します。

留守モードに設定されているときは、留守モードの場合の設定動作を自動的に行います。

ここでは、在宅モード時の、電話回線接続後の本製品の動作を設定します。

1  [メニュー] > [全てのメニュー]
> [ファクス/電話] > [受信設定] > [再
呼出ベル設定]を押します。

2 [再呼出ベル設定]を押して、自動着信後
の動作を選びます。

- [オン（電話呼び出し）]

電話とファクスの両方を使うときに
選びます。

電話のときは再呼出音が鳴ります。
ファクスは自動的に受信します。

- [オフ（ファクス専用）]

本製品をファクス専用として使うと
きに選びます。

回線接続後は再呼び出しをせず、すぐ
にファクス受信を開始するため電話
は受けられません。

3 [オン（電話呼び出し）]を選んだ場合は、
再呼出方法を設定します。

- a. [再呼出方法]を押して、再呼出音を
選びます。

再呼出音が鳴っている間に、相手に
流す音（声）を選びます。

- [相手にベル]

「トゥルルルルルル」という音が相
手に流れます。

- [相手にメッセージ]

在宅応答メッセージが相手に流れ
ます。

お買い上げ時のメッセージ：

「この電話は、電話とファクスに接
続されています。電話の方は、呼
び出しておりますので、そのまま
しばらくお待ちください。ファク
スの方は発信音のあとに送信して
ください。」

在宅応答メッセージを自分の声で
録音することもできます。

- b. [再呼出時間]を押して、再呼出音を
鳴らす時間を選びます。

4  を押します。

ファクスを受信するときに着 信音を鳴らさない（無鳴動受 信）

電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らし
て、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさ
ないようにすることができます。



- 無鳴動受信を有効にすると、電話のと
きはベル音が鳴ります。このベル音は
メロディなどに変更できません。
- 無鳴動受信を有効にすると、相手が電
話をかけた（ファクスを送信した）時
点で、本製品は電話かファクスかを判
断するために回線を接続します。した
がって、本製品で電話を取らなくても
相手側には通話料金が発生します。
- 無鳴動受信を有効にしても、回線状況
が悪い場合はファクスの着信音が数回
鳴ることがあります。

1  [メニュー] > [全てのメニュー]
> [ファクス/電話] > [受信設定] > [フ
ァクス無鳴動受信]を押します。

2 [する]を押します。

- [する]

ファクス受信を優先する無鳴動受信
が設定されます。

無鳴動受信を設定すると、呼出ベル回
数は、在宅モード時、留守モード時と
もに[0]、再呼出ベル設定が自動的
に、[オン（電話呼び出し）]、[相手
にベル]、[30 秒]に設定されます。

- [しない]

無鳴動受信は設定されません。電話、
ファクスどちらの場合も着信音が鳴
ります。

無鳴動受信を設定しない場合、呼出ベ
ル回数は、在宅モード時[7]、留守モ
ード時[5]になり、再呼出ベル設定が
自動的に、[オン（電話呼び出し）]、
[相手にベル]、[30 秒]に設定されま
す。

- 3  を押します。

電話をかける

- ・着信履歴は、ナンバーディスプレイ機能をご利用の場合のみ、使用できます。
- ・電話帳の登録については、「関連情報」をご覧ください。

親機でかける

- 1 受話器を取ります。
- 2 以下のいずれかの方法で電話をかけることができます。
 - ・ダイヤルパッド
操作パネルまたは画面上の数字を使って、電話番号を入力します。
 - ・[履歴]
[再ダイヤル]、[発信履歴]、または[着信履歴]を押します。
[発信履歴]または[着信履歴]を選択した場合は、番号を選択して[電話をかける]を押します。
 - ・[電話帳]
[電話帳]を押します。
番号を選択して[電話をかける]を押します。

- 3 通話が終わったら受話器を戻します。



[ファクス]を押して履歴や電話帳を呼び出すこともできます。

子機でかける

- 1 子機を充電器から外し、 を押します。

- 2 以下のいずれかの方法で電話をかけることができます。

- ・ダイヤルパッド

 ~  を押して電話番号を入力します。

- ・発信履歴

  を押します。

 で相手先を選び、 を押します。

- ・着信履歴

 を押します。
着信履歴

 で相手先を選び、 を押します。

- ・電話帳

 を押します

 で相手先を選び、 を押します。

- 3 通話が終わったら子機を充電器に戻します。(または  を押します。)

関連情報

- ・電話帳に登録する >> 23

電話を受ける

親機で受ける

- 1 電話がかかってきたら、受話器を取って受けます。
- 2 通話が終わったら受話器を戻します。

子機で受ける

- 1 電話がかかってきたら子機を充電器から取ります。

子機を充電器に置いていないときは、**外線**を押します。

- 2 通話が終わったら子機を充電器に戻します。(または **切**を押します。)

通話を保留にする

■ 親機の場合

- 1 通話中に**保留/子機**を押します。
保留メロディが流れ、相手にはこちらの声が聞こえなくなります。
- 2 受話器を受話器台に戻します。
- 3 通話に戻るときは、受話器を取ります。

■ 子機の場合

- 1 通話中に**「外線 保留」**を押します。
保留メロディが流れ、相手にはこちらの声が聞こえなくなります。
- 2 通話に戻るときは、**「外線 保留」**を押します。

通話を録音する

本製品には、通話中の会話を録音する機能があります。



- 1回の操作で録音できるのは180秒です。180秒を過ぎると、録音は自動で終了します。録音を続けたいときは操作を繰り返します。
- 電話を切ると録音も自動的に終了します。
- 録音できる通話数は最大99件、総録音時間は合計で29分です。記録した通話はこまめに整理することをお勧めします。
- 内線通話、三者間通話は録音できません。また、保留中も録音できません。
- 再生は、子機からもできます。

■ 親機で通話を録音する

- 1 通話中に**[録音]**を押します。
録音が始まります。
- 2 録音をやめるときは、**✕**を押します。

■ 親機で録音した通話を再生/消去する

- 1  **[メニュー] > [留守録再生] > [会話録音]**を押します。
保存されている会話の一覧画面が表示されます。
- 2 以下のいずれかの方法でメッセージを確認します。
 - 全件一括操作の場合
 または  を押します。
 を押すと、古いメッセージから順に再生が始まります。**✕**を押すと再生を中止できます。**[消去]**を押すと、再生中のメッセージがメモリーから消去されます。



、[はい]を順に押すと、全ての会話がメモリーから消去されます。

- 1 件操作の場合

操作対象のメッセージを選ぶと、再生が始まります。を押すと再生を中止できます。[消去]を押すと、再生中のメッセージがメモリーから消去されます。

- 3 を押します。

子機で通話を録音する

- 1 通話中に、子機の を押します。
録音が始まります。
- 2 録音をやめるときは、、、のいずれかを押します。

子機で録音した通話を再生/ 消去する

- 1 子機の を押します。
- 2 で[再生/消去]を選び、を押します。
- 3 で[会話]を選び、を押します。
- 4 で[1 件ずつ]または[全件]を選び、を押します。
[1 件ずつ]を選ぶと記録されているメッセージの 1 件目の詳細が表示されます。で操作の対象を選んで を押してください。

- 5 で[再生]または[消去]を選び、を押します。

- [再生]を選ぶと、再生が始まります。
を押すと再生を中止できます。
- [消去]を選ぶと、消去の確認メッセージが表示されます。を押して消去します。

- 6 を押します。

電話帳に登録する

よく電話をかける相手や緊急時の連絡先を電話帳に登録します。

親機の電話帳に登録する

- 1 [ファクス] > [電話帳]を押します。
- 2 以下の手順を行います：
 - a. [登録/編集] > [電話帳登録] > [名前]を押します。
 - b. 画面を使用して名前（最大 10 文字）を入力します。[OK]を押します。
 - c. [宛先 1]を押します。
 - d. 画面を使用して、1 番目のファクスまたは電話番号（最大 20 桁）を入力します。[OK]を押します。



- 名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ]を押して、再入力してください。
- 番号の間にポーズを入れるには、[ポーズ]を押します。[ポーズ]は何回でも押して、必要なだけポーズの長さを増やすことができます。
- e. 2 番目のファクスまたは電話番号を登録するには、[宛先 2]を押します。画面を使用して、2 番目のファク

または電話番号（最大 20 桁）を入力します。[OK]を押します。

f. [OK]を押して確定します。

他の番号を電話帳に登録するには、これらの手順を繰り返します。

3 を押します。

子機の電話帳に登録する

1 子機の を押します。

2 で「電話帳登録」を選び、を押します。

3 以下の手順を行います：

a. 名前（最大 10 文字）を入力し、

を押します。

b. 電話番号（最大 20 桁）を入力し、

を押します。

 名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがながない場合は、編集してを押してください。

• 番号の間にポーズを入れるには、

を押します。

• 「186」または「184」を付けて登録する場合、国際電話、構内交換機をお使いの場合は

⇒ユーザーズガイド 応用編「電話帳の内容を変更する」

他の番号を電話帳に登録するには、これらの手順を繰り返します。

4 を押して登録を終了します。

電話帳を利用する

親機の電話帳を子機へ転送する

親機の電話帳に登録した番号が電話・ファクス兼用番号であれば、そのまま子機に転送すると便利です。

 転送するときは、子機側で別の操作（外線通話・内線通話、設定、登録など）をしないでください。

1  [ファクス] > [電話帳] > [登録/編集] > [子機に転送]を押します。

2 子機が複数ある場合は、転送したい子機を選びます。

3 子機に転送する相手先を選び、[OK]を押します。

一度に転送できる相手先は 20 件です。1 つの名前に 2 件登録されている場合は、個別に選んでください。

4 画面の指示に従って、操作を完了します。

次の設定について詳しくは、ユーザーズガイド 応用編をご覧ください。

- 発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する
- 電話帳の内容を変更/削除する
- グループダイヤルに登録する
- パソコンを使って電話帳に登録する
- 子機の電話帳を親機に転送する
- 電話帳リストを印刷する（「本製品の設定内容や機能を確認する」）

いろいろな電話のかけ方

■ 受話器を置いたままかける

親機の場合

- 1  [ファクス] を押します。

 [みるだけ受信] が [オン (画面で確認)] に設定されている場合は、 [ファクス] > [ファクス送信] を押します。

- 2 [オンフック] を押し、相手先の電話番号を押します。

- 3 相手が出たら、受話器を取ります。
途中で操作をやめるときやかけ直すときは、 を押します。

子機の場合

- 1  を押します。
スピーカーホン

- 2 相手先の電話番号を押します。

- 3 相手が出たら、マイクに向かって話します。



 まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは、子機を充電器から取って話してください。

- 4 通話が終わったら、 を押します。

■ プッシュホンサービスを利用する

本製品では、交通機関やチケットの予約、銀行の残高照会などができるプッシュホンサービスを利用できます。

- 1 受話器を取り（子機の場合は  を押し）、プッシュホンサービスの電話番号をダイヤルします。

 ダイヤルしたときに「ピッポッパ」と音がするのがプッシュ回線、音がしないのがダイヤル回線です。

- 2 ダイヤル回線の場合は、*（子機の場合は  ）を押します。

- 3 サービスの指示に従って操作パネルまたは子機のダイヤルパッドを押します。

■ スピーカーホン通話に切り替える（子機のみ）

スピーカーホン通話にすると、子機のスピーカーから相手の声が聞こえ、子機を置いたままで通話することができます。

- 1 通話中に  を押します。
スピーカーホン通話が始まります。

- 2 スピーカーホン通話をやめるときは、もう一度  を押します。
スピーカーホン

■ 受話音質を調節する（子機のみ）

相手の声を好みの音質に 5 段階で調節できます。

- 1 通話中に  を押します。
音質1 クリア

設定画面が表示されます。2 秒間操作しないと、通話中の画面に戻ります。

2  を押して音質を調整します。

5 段階から選びます。

通話終了後、設定は 3 段階目に戻ります。

内緒話モードを設定する(子機のみ)

お互いに小さい声で話しても、通常の音量で聞くことができます。

1 通話中に  を約 2 秒押します。

[内緒：ON] と表示されます。

2 内緒話モードをやめるときは、もう一度  を約 2 秒押します。

電話を取り次ぐ

親機から子機へ取り次ぐ

親機で受けた電話を子機に取り次ぎます。

1 通話中に **保留/子機** を押します。
外線の相手との通話が保留になります。

2 取り次ぐ子機の内線番号を押します。
子機が 1 台の場合は、**1** を押します。
子機の内線番号は、以下のように設定されています。

通話先	付属子機が 1 台の場合	付属子機が 2 台の場合
子機 1	1	1
子機 2	-	2
増設子機 2	2	-
増設子機 3	3	3

通話先	付属子機が 1 台の場合	付属子機が 2 台の場合
増設子機 4	4	4

子機の内線呼出音が鳴ります。

 呼び出している子機が出ないときなど、保留している相手ともう一度話すときは **保留/子機** を押します。

3 子機を充電器から取ります。

4 子機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて、受話器を置きます。

子機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から親機へ取り次ぐ

子機で受けた電話を親機に取り次ぎます。

1 通話中に  を押します。
外線の相手との通話が保留になります。

2  で [親機] を選び、 を押します。
親機の内線呼出音が鳴ります。

 親機が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは  を押します。

3 親機を受話器を取ります。

4 親機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて  を押します。

親機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から子機へ取り次ぐ

子機を 2 台以上使用しているとき、子機で取った電話を別の子機に取り次ぐことができます。

ここでは「子機 1 で受け、子機 2 へ取り次ぐ場合」を例として説明します。

- 1 子機 1 で通話中に「内線保留」を押します。
外線の手との通話が保留になります。

- 2  で「子機 2」を選び、「機能確定」を押します。
子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

 呼び出している子機が出ないときなど、外線の手ともう一度話すときは、「内線保留」を押します。

- 3 子機 2 が内線に応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて、子機 1 の「切」を押します。
子機 2 と外線の手が通話できるようになります。

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

内線通話をはさまずに、直接別の子機に外線を取り次ぐ方法です。

親機から子機へ取り次ぐ

- 1 通話中に「保留/子機」を押します。
外線の手との通話が保留になります。
- 2 親機の受話器を置きます。
- 3 子機を取り、「外線」を押します。
子機と外線の手が通話できるようになります。

子機から親機へ取り次ぐ

- 1 通話中に「内線保留」を押します。

外線の手との通話が保留になります。

- 2  で「親機」を選び、「機能確定」を押します。
- 3 子機の「切」を押して、充電器に戻します。
- 4 親機の受話器を取ります。
親機と外線の手が通話できるようになります。

子機から子機へ取り次ぐ

ここでは「子機 1 で受け、子機 2 へ取り次ぐ場合」を例として説明します。

- 1 子機 1 で通話中に「内線保留」を押します。
外線の手との通話が保留になります。
- 2  で「子機 2」を選び、「機能確定」を押します。
子機 2 の内線呼出音が鳴ります。
- 3 子機 1 の「切」を押します。
子機 2 の呼び出し音が、内線呼出音から外線着信音に変わります。
- 4 子機 2 を充電器から取ります。
子機 2 と外線の手が通話できるようになります。

内線通話をする

親機から子機へ、子機から親機へ、子機から子機へ内線電話をかけることができます。

親機から子機へかける

- 1 受話器を取って、「保留/子機」を押します。

- 2 通話したい子機の内線番号を押します。
子機が 1 台の場合は、**1** を押します。
子機の内線呼出音が鳴ります。

- 3 子機を充電器から取ります。
親機と子機で通話できます。

子機から親機へかける

- 1 子機を充電器から取り、**「内線 保留」** を押します。
- 2 **+** で「親機」を選び、**「機能 確定」** を押します。
親機の内線呼出音が鳴ります。
- 3 親機の受話器を取ります。
親機と子機で通話できます。

 内線通話中に外線がかかってきたときは、内線通話状態のまま親機の着信音が鳴ります。親機の受話器を戻して、もう一度受話器を取ると外線と電話につながります。

子機から子機へかける

子機どうしで通話する操作方法です。外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。

ここでは、「子機 1 から子機 2 に内線をかける場合」を例に説明します。

- 1 子機 1 を充電器から取り、**「内線 保留」** を押します。
- 2 **+** で「子機 2」を選び、**「機能 確定」** を押します。
子機 2 の内線呼出音が鳴ります。
- 3 子機 2 を充電器から取ります。
子機 1 と子機 2 で通話できます。

 電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

3 人で同時に話す

親機と子機と外線の相手、または子機どうしと外線の相手の 3 人で同時に話すことができます。

- 
- ・外線の相手 2 人と同時に通話することはできません。
 - ・トリプル通話中は、保留はできません。

親機から子機を呼び出してトリプル通話（3 者通話）をする

- 1 親機で外線通話中に**保留/子機**を押します。
外線の相手との通話が保留になります。
- 2 通話したい子機の内線番号を押します。
子機が 1 台の場合は、**1** を押します。
子機の内線呼出音が鳴ります。
- 3 子機を充電器から取ります。
- 4 子機の相手に 3 人で話すことを伝えて、**保留/子機**を押します。
トリプル通話が始まります。

 トリプル通話から通常（二者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れるのが親機なら受話器を受話器台に戻し、子機なら **「切」** を押してください。

子機から親機を呼び出してトリプル通話をする

- 1 子機で外線通話中に**「内線 保留」**を押します。
外線の相手との通話が保留になります。

2  で「親機」を選び、「機能 確定」を押します。
親機の内線呼出音が鳴ります。

3 親機の受話器を取ります。

4 親機の相手に 3 人で話すことを伝えて、「内線 保留」を押します。
トリプル通話が始まります。

 トリプル通話から通常（二者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れるのが親機なら受話器を受話器台に戻し、子機なら「切」を押してください。

子機から別の子機を呼び出してトリプル通話をする

ここでは、「子機 1 と外線で通話中に、子機 2 を参加させる場合」を例として説明します。

1 子機 1 で外線通話中に「内線 保留」を押します。
外線の相手との通話が保留になります。

2  で「子機 2」を選び、「機能 確定」を押します。
子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 子機 2 を充電器から取ります。

4 子機 2 の相手に 3 人で話すことを伝えて、「内線 保留」を押します。
トリプル通話が始まります。

 トリプル通話から通常（二者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れる子機の「切」を押してください。

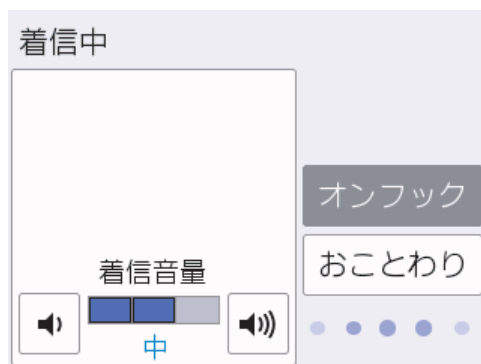
かかってきた電話を拒否する

通話前に電話を拒否する

番号表示機能などにより電話を取る前に、話したくない相手だとわかったときは、回線を切ることができます。

親機の場合

1 着信音が鳴っているときに、「おことわり」を押します。



2 「はい」を押します。
「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

子機の場合

1 着信音が鳴っているときに、充電器から取らずに子機の「機能 確定」を押します。
通話中専用のメニューが表示されます。

2  で「おことわり」を選び、「機能 確定」を押します。
「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

通話中に電話を拒否する

しつこい勧誘やいたずら電話など、かかってきた電話の相手とそれ以上話したくないときに、自動音声による拒否メッセージを流し、回線を切ることができます。

親機の場合

- 1 通話中に、[おことわり]を押します。
- 2 [はい]を押します。
「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。
- 3 受話器を受話器台に戻します。

子機の場合

- 1 通話中に、子機の「機能確定」を押します。
通話中専用のメニューが表示されます。
- 2  で[おことわり]を選び、「機能確定」を押します。
「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。
- 3 子機を充電器に戻します。

ナンバーディスプレイサービスを利用する

ファクス受信や電話着信の相手の番号を本製品に表示します。

電話会社の有料サービスを契約している場合に本製品で利用できる機能です。電話会社の有料サービスが契約されているか、事前に必ずご確認ください。(NTT の場合の有料サービス名：ナンバーディスプレイサービス) サービスの詳細については、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

- 1  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [ナンバーディスプレイ]を押します。
- 2 [あり]を押します。
- 3  を押します。



- ・ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバーディスプレイが正常に動作しません。
- ・ISDN 回線を利用しているときは、ナンバーディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- ・構内交換機（PBX）に接続する場合は、構内交換機（PBX）がナンバーディスプレイに対応している必要があります。
- ・IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバーディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダー、接続している機器メーカーへお問い合わせください。
- ・電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

着信鳴り分けを設定する

ナンバーディスプレイ機能を契約している場合は、かけてきた相手によって着信音を変えることができます。

親機の場合

1  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [着信鳴り分け] を押します。

2 鳴り分けを設定したい電話番号を選びます。

  を押すと、電話帳から検索することもできます。電話帳に登録した相手先の名前のヨミガナを入力し、[OK]を押します。ヨミガナの先頭の文字を入力しても検索ができます。

3 [ファクス専用]または[電話鳴り分け]を選びます。

- [ファクス専用]

着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。

- [電話鳴り分け]

設定した着信音で親機が鳴ります。

4 [電話鳴り分け]を選んだ場合は、着信音を選び、[OK]を押します。

5  を押します。

子機の場合

1 子機の  を押します。

2  で [鳴動音設定] を選び、  を押します。

3  で [2.着信鳴り分け] を選び、  を押します。

4  で着信音を選び、  を押します。

5  を押します。



- 子機では、電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。
- 子機の電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

迷惑電話指定する

ナンバーディスプレイ機能を契約している場合は、100件まで、迷惑先として本製品に登録することができます。登録後は指定した先からかかってきても着信音が鳴りません。



- 迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。
- 親機を [迷惑番号指定] に設定すると、子機も着信音が鳴りません。

1  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [着信拒否] > [迷惑番号指定] を押します。

2 メッセージを確認して、[OK]を押します。

3 迷惑指定する番号を選びます。



 を押すと、電話帳から検索することもできます。電話帳に登録した相手先の名前のヨミガナを入力し、[OK]を押します。ヨミガナの先頭の文字を入力しても検索ができます。

4 [迷惑番号指定] を押します。

5  を押します。

キャッチホンを利用する

キャッチホン（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合の電話の受けかたです。

ご利用には別途、電話会社との契約が必要です。（有料）

キャッチホンで電話を受けた場合

- 1 通話中に「プップッ」と聞こえたら、画面に表示される「キャッチ」（子機の場合は ）を押します。

 別途、ナンバーディスプレイ機能をご契約の場合は、かかってきたキャッチホンの相手の電話番号を画面に表示させて、取る前に相手を確認することもできます。

最初の相手との通話は保留になり、新しくかかってきた相手との回線がつながります。

- 2 新しくかかってきた相手と通話します。
- 3 最初の相手に戻るときは、再度「キャッチ」（）を押します。

 「キャッチ」（）を押すたびに、通話の相手が切り替わります。

キャッチホンでファクスを受けた場合

 親切受信を「する」に設定していると、キャッチホンで受けた相手がファクスであれば、自動的にファクスを受信します。ただし、お使いの状況によっては、自動的に受信しないことがあります。その場合は、下記手順 4、5 のとおりに手動で受信してください。

- 1 通話中に「プップッ」と聞こえたら、画面に表示される「キャッチ」（子機の場合は ）を押します。

「ピーピー」という音が聞こえます。最初の相手との通話は保留になります。

- 2 再度「キャッチ」（）を押して、いったん最初の相手に戻ります。

- 3 最初の相手との通話を手短かに終えて、もう一度「キャッチ」（）を押します。

キャッチの相手（ファクス）につながります。

お願い

ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短かに話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。

- 4 親機の「ファクス送受信」を押し、「受信」を押します。

子機の場合は、、「ファクス受信」、を順に押します。

ダイヤル入力画面のときは「スタート」を押し、「受信」を押します。

- 5 画面に「受信中」と表示されたら、受話器を戻します。

子機の場合は、画面に「ファクス受信を開始します」と表示されたら、子機を充電器に戻します。

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を本製品に表示します。

NTTの有料サービスを契約している場合に本製品で利用できる機能です。

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用するためには、「キャッチホン」と「ナンバーディスプレイサービス」両方の有料サービスを契約していただく必要があります。

他の電話会社の同様のサービスにも対応しています。それぞれのサービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

1  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [キャッチディスプレイ]を押します。

2 [あり]を押します。

3  を押します。



- ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 子機通話中、キャッチホンが入ると、「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が一瞬とぎれます。
- 子機のキャッチホン・ディスプレイの表示は、約 10 秒です。

留守番機能の設定

本製品の留守番機能を使うと、外出するときなど、電話に出られないときにかかってきた電話に自動的に対応できます。

メッセージの録音時間を設定する

留守モード時に、相手がメッセージを録音するときの1回あたりの録音時間を設定します。

1回の最大録音時間は約3分、最大件数は99件、合計で29分まで録音可能です。

- 1  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [留守番電話設定] > [録音時間]を押します。

- 2 録音時間を選びます。



[0 秒 (応答メッセージのみ)]に設定すると、本製品から応答メッセージが流れたあと、すぐに回線が切れます。あらかじめ、専用の応答メッセージ（例：「ただいま留守にしています。のちほどおかけ直してください。」など）を録音しておき、そのメッセージが留守モード時に流れるように設定しておいてください。操作については、「関連情報」をご覧ください。

- 3  を押します。

関連情報

- ・ 応答メッセージを録音する >>> 34

応答メッセージを録音する

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて2種類の留守応答メッセージと1種類の在宅応答メッセージを、それぞれ20秒まで自分の声で録音することができます。

- 1 子機の  を押します。

- 2  で [留守番設定] を選び、  を押します。

- 3  で設定したい応答メッセージを選び、  を押します。

- ・ [留守応答 1、留守応答 2]

留守番機能がセットされており、電話に出られない場合に流すメッセージです。

お買い上げ時のメッセージ：「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」

- ・ [在宅応答]

留守番機能がセットされていない状態で、電話とファクスの両方を使う設定にしている場合に流すメッセージです。

お買い上げ時のメッセージ：「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」

- 4  で [録音] を選び、  を押します。

- 5 メッセージを録音します。

- 6 録音が終わったら、  を押します。

今録音した内容が自動的に再生されます。

別の録音を続ける場合は、この手順を繰り返してください。

7 を押します。



- 留守応答メッセージは、子機で選ぶことができます。
 - 子機の を押します。
 - で「留守番設定」を選び、を押します。
 - で「応答切替」を選び、を押します。
 - でメッセージを選び、を押します。
- 在宅応答メッセージは、いったん録音すると、そのメッセージが固定となります。お買い上げ時のメッセージを再度使用したいときは、録音した在宅応答メッセージを消去します。
- メッセージは何度でも録音し直すことができます。

録音した応答メッセージを消去する

- 子機の を押します。
- で「留守番設定」を選び、を押します。
- で消去したい応答メッセージを選び、を押します。
- で「消去」を選び、を押します。
- 消去の確認メッセージが表示されたら、を押します。
応答メッセージが消去されます。
- を押します。

応答メッセージを確認する

- 子機の を押します。
- で「留守番設定」を選び、を押します。
- で確認したい応答メッセージを選び、を押します。
- で「再生」を選び、を押します。
応答メッセージが再生されます。
- を押します。

留守録モニターを設定する

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。

-  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス/電話] > [留守番電話設定] > [留守録モニター]を押します。
- [する]または[しない]を押します。
- を押します。



留守録モニターは、子機側で設定することもできます。子機の を押して、で「留守番設定」を選び、設定を行ってください。

留守番機能をセット/解除する

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

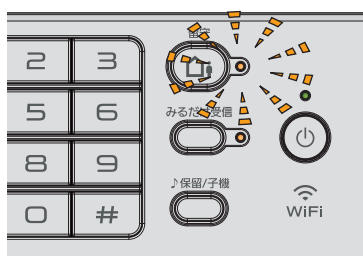
留守番機能をセットする

- 1  を押します。
- 2  の右側に配置された LED が点灯し、留守モードになったことを確認します。

 留守番機能は、子機の  を押して設定することもできます。

留守番機能を解除する

新しく録音された音声メッセージがあるときは、 の右側に配置された LED が点滅しています。



- 1  を押します。
 の右側に配置された LED が消灯し、留守モードが解除されます。新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが再生されます。

 子機で留守番機能を解除する場合は、 を押します。

留守録メッセージを再生/消去する

メッセージは、留守番機能をセットしたままでも再生/消去できます。

親機の場合

- 1  [メニュー] > [留守録再生] > [留守録] を押します。

保存されているメッセージの一覧画面が表示されます。

- 2 以下のいずれかの方法でメッセージを確認します。

- ・全件一括操作の場合

 または  を押します。

 を押すと、古いメッセージから順に再生が始まります。 を押すと再生を中止できます。[消去]、[はい] を順に押すと再生中のメッセージがメモリーから消去されます。

、[はい] を順に押すと、全留守録メッセージがメモリーから消去されます。

- ・1件操作の場合

操作対象のメッセージを選ぶと、再生が始まります。 を押すと再生を中止できます。[消去]、[はい] を順に押すと再生中のメッセージがメモリーから消去されます。

子機の場合

- 1 子機の  を押します。

- 2  で [再生/消去] を選び、 を押します。

3  で「留守」を選び、 を押します。

4  で「1件ずつ」または「全件」を選び、 を押します。

「1件ずつ」を選ぶと留守録メッセージの1件目の詳細が表示されます。 で操作の対象を選んで  を押してください。

5  で「再生」または「消去」を選び、 を押します。

- ・「再生」を選ぶと、再生が始まります。
 を押すと再生を中止できます。
- ・「消去」を選ぶと、消去の確認メッセージが表示されます。 を押して消去します。

音声メッセージを確認する

留守録メッセージの再生で、親機の  または子機の「全件」を選んだときは、下記の操作ができます。

親機の場合

1 再生中のメッセージを聞き直すときは、 を押します。

 を2回続けて押すと、1つ前のメッセージが再生されます。

※  は、ゆっくり押してください。

2 次のメッセージを聞くときは、 を押します。

子機の場合

1 再生中のメッセージを聞き直すときは、 を押します。

 を2回続けて押すと、1つ前のメッセージが再生されます。

2 次のメッセージを聞くときは、 を押します。

3 途中でメッセージの再生をやめるときは、 または  を押します。

その後、 を押すと、待ち受け画面に戻ります。

ファクスの前に

発信元を登録する

ファクスを送信するたびに、相手側の用紙に日付と時刻を印刷するには、製品の発信元登録をします。

- 1  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [発信元登録]を押します。
- 2 [ファクス]を押します。
- 3 画面でファクス番号(20桁まで)を入力し、[OK]を押します。
- 4 [名前]を押します。
- 5 画面に表示されているキーボードで名前(16文字まで)を入力し、[OK]を押します。
- 6  を押します。

ファクスを送る

- 1 ADF(自動原稿送り装置)または原稿台ガラスに原稿をセットします。
 - 2  [ファクス]を押します。
-  [みるだけ受信]が[オン(画面で確認)]に設定されている場合は、 [ファクス] > [ファクス送信]を押します。

以下の画面が表示されます：

宛先を入力			
1	2	3	設定変更
4	5	6	 留守フック
7	8	9	 履歴
 0	#	 電話帳	

- 3 以下のいずれかの方法でファクス番号を入力します：
 - ・ダイヤルパッド(手動でファクス番号を入力します)。
ダイヤルパッドを使って、番号のすべての数字を押します。
 - ・履歴
[履歴]を押します。
[再ダイヤル]、[発信履歴]、または[着信履歴]を押します。
[発信履歴]または[着信履歴]を選択した場合は、番号を選択し、[ファクス送信]を押します。
 - ・電話帳
[電話帳]を押します。
番号を選択して、[ファクス送信]を押します。
- 4 ファクス設定を変更するには、[設定変更]を押します。
設定が完了したら、[OK]を押します。
- 5 [スタート]を押します。
 - ・ADF(自動原稿送り装置)を使用している場合、本製品はスキャンを開始して原稿を送信します。
 - ・原稿台ガラスを使用し、[カラー設定]の[モノクロ]を選択している場合、本製品は最初のページのスキャンを開始します。

次の手順に進みます。

- 原稿台ガラスを使用し、[カラー設定]の[カラー]を選択している場合、カラーファクスを送信したいかどうか、画面に確認メッセージが表示されます。

[はい(カラー送信)]を押して確定します。本製品はダイヤルを開始し、原稿を送信します。

6 画面に「次の原稿はありますか?」と表示された場合は、以下のいずれかを行ってください：

- 次の原稿がない場合は、[いいえ]を押します。本製品が原稿の送信を始めます。
- 次の原稿がある場合は、[はい]を押します。次のページを原稿台ガラスに置き、[OK]を押します。本製品がスキャンを開始します。

追加するページごとにこの手順を繰り返します。

複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）

同じ原稿を複数のファクス番号に同時に送信する場合は、同報送信機能を使用します。

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。
- 電話帳の番号を同報送信で使用するには、事前に電話帳を製品のメモリーに登録する必要があります。
- グループダイヤルを同報送信で使用する場合も、事前にグループダイヤルを製品のメモリーに登録する必要があります。グループに電話帳の番号をたくさん登録すると、簡単にダイヤルすることができます。

- 同じ同報送信には、グループ、電話帳の番号、直接入力した番号（最大 50 件）を含めることができます。
- 電話帳にグループダイヤルを使用していない場合、最大 250 件の異なる番号にファクスを同報送信することができます。

1 原稿をセットします。

2 [ファクス]を押します。



[みるだけ受信]が[オン(画面で確認)]に設定されている場合は、 [ファクス] > [ファクス送信]を押します。

3 [設定変更] > [同報送信]を押します。

4 [番号追加]を押します。

以下の方法で、同報送信先の番号を追加できます：

- [番号追加]を押し、ダイヤルパッドを使ってファクス番号を入力します。
[OK]を押します。
- [電話帳から選択]を押します。▲または▼を押して同報送信に追加したい番号を表示させます。追加したい番号のチェックボックスを選択します。
入力が完了したら、[OK]を押します。
- [検索して選択]を押します。名前の最初の文字を押し、[OK]を押します。名前を押して、追加したい番号を押します。

追加するファクス番号ごとにこの手順を繰り返します。

5 入力が完了したら、[OK]を押します。

6 [スタート]を押します。

7 以下のいずれかを行ってください：

- ADF(自動原稿送り装置)を使用している場合、本製品はスキャンを開始して原稿を送信します。
- 原稿台ガラスを使用している場合、本製品は最初のページのスキャンを開始します。

画面に「次の原稿はありますか?」と表示された場合は、以下のいずれかを行ってください：

- 次の原稿がない場合は、「いいえ」を押します。本製品が原稿の送信を始めます。
- 次の原稿がある場合は、「はい」を押します。次のページを原稿台ガラスに置き、「OK」を押します。本製品がスキャンを開始します。

追加するページごとにこの手順を繰り返します。



「メモリがいっぱいです」メッセージが表示された場合、または「取り消し」を押してキャンセルするか、または「読み取り分送信」を押して今までスキャンしたページを送信します。

みるだけ受信

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。

みるだけ受信をオンにする

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。
- みるだけ受信がオンのとき、ファクス転送、PC-FAX 受信、ファクス クラウド転送のバックアップコピーは、本体でも印刷するように設定していても印刷されません。
- ファクス受信スタンプがオンに設定されている場合、印刷されたファクスには受信日時が印字されますが、みるだけ受信画面には表示されません。

1  「メニュー」を押します。

2  「みるだけ受信」を押します。

3 「オン(画面で確認)」(または「オフ(受信したら印刷)」)を押します。

画面に、今後は受信したファクスが印刷されなくなる、という説明が表示されます。

4 「はい」を押します。

5  を押します。



みるだけ受信をオフに変更したときに、メモリーにファクスが保存されている場合は、以下のいずれかを行ってください：

- 保存されたファクスを印刷しない場合は、「全て消去」を押します。
「はい」を押して確定します。
ファクスは削除されます。
- すべての保存ファクスを印刷する場合は、「全て印刷してから消去」を押します。
- みるだけ受信をオフにしない場合は、「キャンセル」を押します。

画面で新着ファクスを見る

ファクスを受信すると、画面にメッセージが表示されます。

- この機能はモノクロファクスのみ対応しています。
- 既読のファクスを再度見るには、 「ファクス」および  「受信ファクス」を押します。

- 1  を押すと新着ファクスが表示されます。



- 2 ファクス一覧には新旧のファクスが含まれます。新着ファクスには、青い印がつきます。

見たいファクスを押します。



 一覧のすべてのファクスを印刷または消去するには、[印刷/消去]を押します。

以下のいずれかを行ってください：

- すべての未読ファクスを印刷するには、[全て印刷 (新着ファクス)]を押します。
- すべての既読ファクスを印刷するには、[全て印刷 (既読ファクス)]を押します。
- すべての未読ファクスを消去するには、[全て消去 (新着ファクス)]を押します。
- すべての既読ファクスを消去するには、[全て消去 (既読ファクス)]を押します。

- 3 表中のボタンを押して、以下の操作を行います：

ボタン	結果
	ファクスを拡大します。
	ファクスを縮小します。
	縦にスクロールします。
	
	横にスクロールします。
	
	ファクスを時計回りに回転させます。
	ファクスを消去します。 [はい]を押して確定します。
	前のページに戻ります。
	次のページに進みます。
	ファクスの一覧に戻ります。

- [スタート] ファクスを印刷します。
ファクスが 1 ページの場合は、印刷を開始します。本製品のメモリーからファクスを削除するか尋ねるメッセージが、画面に表示されます。ファクスを削除するには、[はい]を押します。ファクスを本製品のメモリーに残すには、[いいえ]を押します。
ファクスが複数ページある場合は、以下のいずれかを行ってください：
- すべてのページを印刷するには、[全てのページをプリント]を押します。本製品のメモリーからファクスを削除するか尋ねるメッセージが、画面に表示されます。ファクスを削除するには、[はい]を押

ボタン	結果
-----	----

します。ファクスを本製品のメモリーに残すには、[いいえ]を押します。

- 表示されているページのみを印刷するには、[表示ページのみプリント]を押します。
- 表示されているページから最後のページまですべてを印刷するには、[表示ページ以降プリント]を押します。

-
- ファクスが大きいと、表示されるまでに時間がかかります。
 - 画面にファクスの現在のページ番号と合計ページ数が表示されます。

4  を押します。

ファクスレポート

- 送信結果レポートを印刷する

送信結果レポートでファクス送信したことを確認できます。

詳細は、「ユーザーズガイド 応用編」をご覧ください。

- 通信管理レポートを印刷する

通信管理レポートの印刷間隔を設定できます。(50 件ごと、6 時間ごと、12 時間ごと、24 時間ごと、2 日ごと、7 日ごと)

詳細は、「ユーザーズガイド 応用編」をご覧ください。

印刷品質をチェックする

印刷の色や文字が薄かったり、筋が入ったり、または、表示されていない文字がある場合は、プリントヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。印刷品質チェックシートを印刷して、ノズルチェックのパターンを確認してください。

1  [メニュー] > [メンテナンス] > [印刷品質のチェックと改善] > [印刷品質のチェックと改善] を押します。

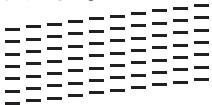
2 [スタート] を押します。
印刷品質チェックシートが印刷されます。

3 チェックシートで 4 つの色の品質を確認します。

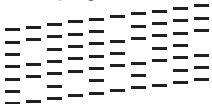
4 画面に印刷品質についての確認メッセージが表示されます。以下のいずれかを行ってください：

- すべての線がはっきりと見える場合は、[いいえ] を押し、 を押して印刷品質のチェックを完了します。
- 線が欠けている（以下の**悪い例**を参照）場合は、[はい] を押します。

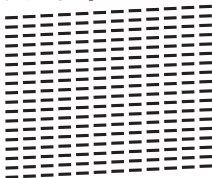
良い例 (MFC-J738DN/MFC-J738DWN)



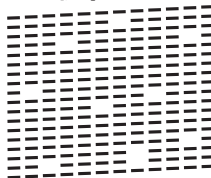
悪い例 (MFC-J738DN/MFC-J738DWN)



良い例 (MFC-J998DN/MFC-J998DWN)



悪い例 (MFC-J998DN/MFC-J998DWN)



5 画面に、各色の印刷品質を確認するよう促すメッセージが表示されます。印刷結果にもっとも近いパターンの番号（1～4）を選んで押します。

6 以下のいずれかを行ってください：

- プリントヘッドのクリーニングが必要な場合は、[スタート] を押してクリーニングへ進みます。
- プリントヘッドのクリーニングが必要でない場合は、メンテナンス画面が再度表示されます。 を押します。

7 クリーニングが完了すると、印刷品質チェックシートを再度印刷するか尋ねられます。[はい] を押し、[スタート] を押します。

再度、印刷品質チェックシートが印刷されます。チェックシートで 4 つの色の品質を再度確認します。

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、問題のある色のインクカートリッジを、ブラザー純正インクカートリッジに交換してみてください。プリントヘッドを再度クリーニングします。印刷品質が改善されない場合は、ブラザーコールセンターにご連絡ください。

重要

プリントヘッドには触らないでください。プリントヘッドに触れると、回復不能な損傷を与えたり、保証対象外となる場合があります。



プリントヘッドのノズルが詰まると、このように印刷されます。



プリントヘッドのノズルのクリーニング後は、筋は解消されます。



罫線ずれ、文字ぶれを改善する

本製品を移動した後などに、印刷された文字がずれていたり、画像がぼやけている場合は、罫線補正を行ってください。

1



[インク] > [印刷品質のチェックと改善] > [罫線ずれの補正]を押します。



[メニュー] > [メンテナンス] > [印刷品質のチェックと改善] > [罫線ずれの補正]を押すこともできます。

2

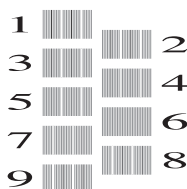
[次へ]を押します。

3

[スタート]を押します。

罫線ずれチェックシートが印刷されます。

(A)



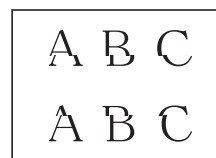
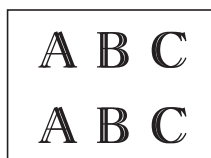
4

(A) パターンでは、▲または▼を押して、印刷されたチェックシートで最も縦筋が目立たない番号を1～9から選び、それを押します（上記の例では、6番が最適な印刷位置です）。[OK]を押します。

残りのパターンについてもこの手順を繰り返します。



印刷位置が正しく調整されていないと、文字がぼやけたりゆがんだりして見えます。



正しく印刷補正がされると、文字がこのように見えます。



5



を押します。

給紙ローラーを清掃する

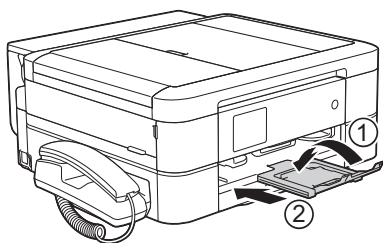
給紙ローラーの清掃を定期的に行うことで、給紙が適切に行われるようになり、紙詰まりを防ぎます。



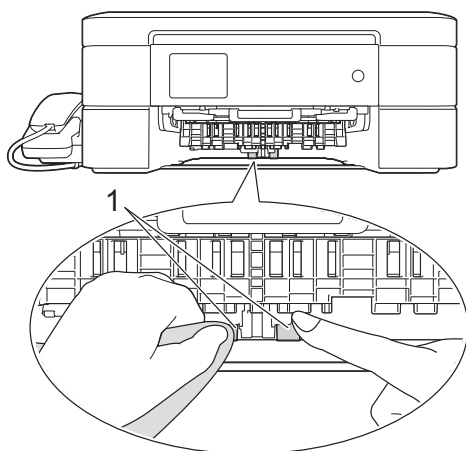
(MFC-J998DN/MFC-J998DWN)

付属のローラークリーニングシートを使って、給紙ローラーを清掃することもできます。詳しくは、クリーニングキットの説明書をご覧ください。

- 1 製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 排紙ストッパー (1) が開いている場合は閉じて、排紙トレイ (2) を格納します。



- 3 用紙トレイを引き出します。
- 4 水にぬらして固く絞った、柔らかくて繊維の出ない布で、給紙ローラー (1) を拭きます。ゆっくりとローラーを回転させ、すべての面を拭きます。清掃後は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でローラーの水分を拭き取ってください。



- 5 用紙トレイをゆっくりと押して、製品に完全に取り付けます。
- 6 電源プラグをコンセントに差し込みます。

本製品をご使用の際に困ったときは、本章を参照してください。

こんなときは

お使いの製品に不具合が発生しても、ほとんどはご自身で解決することができます。

まず、以下の点を確認してください。

- 本製品の電源コードが正しく接続され、本製品の電源がオンになっている。
- 本製品の保護部品がすべて取り外されている。
- インクカートリッジが正しく取り付けられている。
- 本体カバーと紙詰まり解除カバーが完全に閉まっている。
- 用紙トレイに用紙が正しく挿入されている。
- インターフェイスケ이블が本製品とパソコンにしっかりと接続されている。または、本製品とパソコンで無線接続が設定されている。
- (ネットワークモデルの場合) アクセスポイント (無線の場合)、ルーター、またはハブの電源が入っており、リンクボタンが点滅している。

エラーと解決策を見つけるには、画面を確認するか、またはパソコンの**ステータスモニター**で製品の状態を確認します。

画面について	ステータスモニターについて
1. 画面のメッセージに従ってください。 2. 次のページにあるエラーとメンテナンスメッセージの表の指示をご覧ください。 3. それでも解決しない場合は、⇒ユーザーズガイド 応用編「画面にメッセージが表示されたときは」 	• タスクトレイの  アイコンをダブルクリックします。 • アイコンの色は、マシンの状態をあらわします。 • ウェブQ&A ボタンをクリックして、トラブルシューティングのウェブサイトにアクセスします。 

画面にメッセージが表示されたときは

最も一般的なエラーおよびお手入れに関するメッセージを表に記載しています。詳しくは、「ユーザーズガイド 応用編」または「ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク」をご覧ください。

ほとんどのエラーの解決、およびお手入れは、ご自身で行うことができます。さらに情報が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター） support.brother.co.jp にアクセスし、お使いのモデルの **よくあるご質問 (Q&A)** ページを参照してください。

親機

エラーメッセージ	対応
[インカートリッジ がありません]	新しいインカートリッジを取り出して、しっかり装着されるまでもう一度ゆっくり取り付けてください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「インカートリッジを交換する」
[インカートリッジ の型番が違います]	インカートリッジの型番が正しくありません。 カートリッジの型番が、お使いの製品で利用できるものかどうか確認してください。 このセクションの最後の関連情報をご覧ください：消耗品のご案内
[インク量を検知できません]	新しいブラザー純正のインカートリッジを使用してください。エラーが解消されない場合は、ブラザーコールセンターにご連絡ください。
[インクを検知できません]	新しいブラザー純正のインカートリッジを使用してください。エラーが解消されない場合は、ブラザーコールセンターにご連絡ください。
	新しいインカートリッジを取り出して、しっかり装着されるまでもう一度ゆっくり取り付けてください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「インカートリッジを交換する」
	インクの供給口が下向きになるようにインカートリッジをゆっくり回し、再度取り付けてください。 インカートリッジの型番を確認し、正しいインカートリッジを取り付けてください。 このセクションの最後の関連情報をご覧ください：消耗品のご案内
[回線種別を設定できません]	手動で回線種別を設定し直してください。 このセクションの最後の関連情報をご覧ください：電話/ファクス回線種別を設定する
[カートリッジ の色が違います]	どのインカートリッジの色が合っていないか確認し、正しい位置に移動させてください。
[給紙の失敗を繰り返しています]	給紙ローラーを清掃してください。
	このセクションの最後の関連情報をご覧ください：給紙ローラーを清掃する
	スライドトレイの位置が正しくありません。 スライドトレイを正しい位置にセットしてください。

エラーメッセージ	対応
[記録ディスクを確認してください]	ディスクトレイに記録ディスクがないか、レーベルプリントできない記録ディスクが挿入されています。 記録ディスクを取り出し、正しい記録ディスクを入れ直してください。レーベルプリントができる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した 12cm の CD/DVD/BD です。 詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワーク「記録ディスクをセットする」
[クリーニング中]	プリントヘッドのクリーニング中です。そのまましばらくお待ちください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「プリントヘッドをクリーニングする」
[クリーニングできません XX] [初期化できません XX] [印刷できません XX]	ペーパークリップなどの異物や破れた用紙の紙片が、製品内部に詰まっています。 本体カバーを開き、異物や紙片を製品の内部から取り除いてください。エラーメッセージが消えない場合、本製品の電源を切り、数分後に再度電源を入れてください。 受信したファクスを印刷できない場合、ファクスを別のファクス機またはパソコンに転送してください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
[現在のトレイ #1 の設定] [現在の多目的トレイの設定]	このメッセージは、用紙の種類とサイズを確認する設定が有効の場合に表示されます。 この確認メッセージを表示させないようにするには、設定をオフに変更してください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「トレイ確認を設定する」
[子機使用中です]	子機で通話中です。通話中の相手以外へファクスを送るには、子機の通話終了後に行ってください。
[室温が高すぎます]	室温を下げたあと、製品の温度を室温まで下げます。製品の温度が下がってから、再度操作を行ってください。
[室温が低すぎます]	室温を上げたあと、製品の温度を室温まで上げます。製品が温まってから、再度操作を行ってください。
[使用不能な USB 機器です] [USB 機器を抜いてください]	サポートされていない USB 機器または USB フラッシュメモリーが、USB 差し込み口に接続されています。 USB 差し込み口から該当機器を外してください。製品の電源をオフにしてから、再度オンにしてください。 USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていません。USB フラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。

エラーメッセージ	対応
〔使用不能な USB 機器です〕 〔前面にケーブル接続された機器はご利用できませんとり外してオン/オフボタンでリセットしてください〕	故障した機器が、USB 差し込み口に接続されています。 USB 差し込み口から該当機器を外し、 を押して製品をオフにしてから、再度オンにしてください。
〔使用不能な USB ハブです〕	ハブを内蔵した USB フラッシュメモリーを含め、ハブはサポートしていません。USB 差し込み口から該当機器を外してください。
〔スキャンできません XX〕	本製品の電源を切り、数分後に再度電源を入れてください。印刷も機能せず、受信したファクスを印刷できない場合、ファクスを別のファクス機またはパソコンに転送してください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
〔切断されました〕	もう一度送信または受信してください。
〔設定できませんでした〕 〔電話機コードが「停電用電話機」端子に接続されている可能性があります〕	「停電用電話機」端子から「回線」端子に、電話機コードを接続し直してください。電話回線を接続しない場合は、 を押してください。
〔タッチパネルエラー〕	電源オン時の初期化が終了する前に、タッチパネルが押されました。 タッチパネルには何も触れないように、また物を置かないようにしてください。本製品のコンセントを差し込む時は特にご注意ください。 タッチパネルの下部とフレームとの間に、異物がはさまっている可能性があります。 タッチパネルの下部とフレームの間に硬い紙片を差し込み、前後にスライドさせて異物を押し出してください。
〔着信がありません〕	着信履歴がありません。着信がなかったか、電話会社のナンバーディスプレイサービスに加入していません。 ナンバーディスプレイ機能を使用する場合は、電話会社にご連絡ください。 このセクションの最後の関連情報をご覧ください：ナンバーディスプレイサービスを利用する
〔詰まっています/長すぎます〕	原稿が挿入されていないか、原稿が正しく送られずに詰まっているか、ADF（自動原稿送り装置）からスキャンされた原稿が長すぎました。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まったときは」
〔データが残っています〕	 を押してください。印刷ジョブがキャンセルされ、メモリーから削除されます。もう一度印刷してください。

エラーメッセージ	対応
[トレイ設定が違います]	画面の指示に従ってもう一度印刷を試します。
	画面の指示に従って、トレイの用紙サイズ設定を確認します。
[廃インク吸収パッド満杯]	廃インク吸収パッドを交換する必要があります。ブラザーコールセンターまたはサービスセンターにご連絡ください。
[ファクスメモリ少なくなりました]	以下のいずれかを行ってください。 ・メモリからデータを消去します。メモリの容量を増やすには、メモリ受信をオフにします。 詳しくは⇒ユーザズガイド 応用編「メモリ受信をやめる」 ・メモリ内のファクスを印刷してください。 詳しくは⇒ユーザズガイド 応用編「メモリ受信したファクスを印刷する」
[まもなくインク切れ]	1 個または複数のインクカートリッジの残りが少なくなっています。 新しいインクカートリッジを注文してください。画面に[インク交換]と表示されるまで印刷を続行できます。 詳しくは⇒ユーザズガイド 応用編「インクカートリッジを交換する」 ・インクが少なくなったり交換が必要になっても、スキャンすることができます。
[まもなく廃インク満杯]	まもなく廃インク吸収パッドを交換する必要があります。ブラザーコールセンターまたはサービスセンターにご連絡ください。 ・廃インク吸収パッドは、ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品です。
[メディアエラー]	メモリーカードがフォーマットされていないか、壊れています。 メモリーカードを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。または、正常に動作するメモリーカードを差し込んでください。
	メモリーカードが正しく差し込まれていません。メモリーカードを抜いて、差し込み直してください。
[メディアがいっぱいです]	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリ内のファイル数が 999 個より少ない場合は、本製品からファイルの保存ができます。使用していないファイルを削除し、再度試してください。
	空き容量を確保するため、お使いのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリから使用していないファイルを削除し、再度試してください。
[メディアカードエラー]	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリが複数セットされています。どちらか 1 つだけセットしてください。
[メディア容量がいっぱいです]	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリの空き容量が不足しています。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリ内の不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてからお試しください。

エラーメッセージ	対応
「メモリがいっぱいです」	ファクスの送信またはコピー操作が進行中の場合：  または「取り消し」を押し、他の進行中の操作が終了するのを待ってから、再実行してください。 「読み取り分コピー」を押し、これまで読み取った分のページをコピーしてください。 - メモリー内のデータを消去してください。メモリーの容量を増やすには、メモリー受信をオフにしてください。 詳しくは⇒ユーザズガイド 応用編「メモリー受信をやめる」 - メモリー内のファクスを印刷してください。 詳しくは⇒ユーザズガイド 応用編「メモリー受信したファクスを印刷する」
「モノクロ印刷のみ可能です」 「インク交換」	1色または複数の カラーインクカートリッジがなくなりました。 インクカートリッジを交換してください。 詳しくは⇒ユーザズガイド 応用編「インクカートリッジを交換する」 以下の場合、本製品はすべての印刷動作を停止し、新しいインクカートリッジに交換されるまで本製品の使用ができなくなる場合があります： - 本製品の電源を抜くか、インクカートリッジを取り外した場合。 - 本製品またはプリンタードライバーで乾きにくい紙を選択した場合。
「用紙サイズ が不一致です [トレイ#1]」	- 製品の画面で選択した用紙サイズが、トレイにセットされている用紙のサイズと一致していることを確認してください。 このセクションの最後の関連情報をご覧ください：用紙サイズと用紙タイプを変更する - 用紙を正しい向きにセットし、用紙ガイドを使用する用紙サイズが表示に合わせて調整してください。 詳しくは⇒ユーザズガイド 応用編「用紙のセット」 - 用紙のサイズとセット方向を確認したあと、画面の指示に従ってください。 パソコンから印刷中の場合は、プリンタードライバーで選択した用紙サイズが、トレイの用紙サイズと一致していることを確認してください。 詳しくは⇒ユーザズガイド パソコン活用&ネットワーク「印刷設定 (Windows®)」または「印刷オプション (Mac)」

エラーメッセージ	対応
[用紙詰まり A:内部/前] [繰返し用紙詰まり A:内部/前]	詰まった紙を取り除いてください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「用紙が詰まったときは」 用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていることを確認してください。 手差しトレイには、一度に2枚以上の用紙をセットしないでください。画面に次の用紙をセットするよう促すメッセージが表示されるのを待ってから、手差しトレイに次の用紙をセットしてください。
[用紙詰まり B:前] [繰返し用紙詰まり B:前]	詰まった紙を取り除いてください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「用紙が詰まったときは」 用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていることを確認してください。
[用紙詰まり C:後ろ]	詰まった紙を取り除いてください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「用紙が詰まったときは」 用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていることを確認してください。 給紙ローラーを清掃してください。 このセクションの最後の関連情報をご覧ください：給紙ローラーを清掃する
[用紙詰まり D:多目的トレイ]	詰まった紙を取り除いてください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「用紙が詰まったときは」 用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていることを確認してください。
[用紙詰まり E:内部/多目的] [繰返し用紙詰まり E:内/多目的]	詰まった紙を取り除いてください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「用紙が詰まったときは」 用紙ガイドが正しい用紙サイズに調整されていることを確認してください。
[用紙トレイ#1 が抜けています]	用紙トレイをゆっくりと押して、製品に確実に取り付けてください。 用紙や異物があると、用紙トレイが正しく取り付けられません。 製品から用紙トレイを引き抜き、詰まっている用紙や異物を取り除きます。詰まった紙が見つけれられない、または取り除けない場合は⇒ユーザーズガイド 応用編「紙が詰まったときは」

エラーメッセージ	対応
[用紙を送れません [トレイ#1]]	以下のいずれかを行ってください。 ・トレイに用紙を補充し、画面の指示に従ってください。 ・用紙を入れ直し、画面の指示に従ってください。 ・用紙を取り除いて手差しトレイの中央にセットし直してから、画面の指示に従ってください。 詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「手差しトレイにセットする」
	紙詰まり解除カバーが正しく閉じられていません。
	給紙ローラーが汚れています。給紙ローラーを清掃してください。 このセクションの最後の関連情報をご覧ください：給紙ローラーを清掃する

子機

エラーメッセージ	対応
[親機を探しています]	親機から 100m 以内に移動してください。 それでもメッセージが表示される場合は、子機の ID 登録をしておしてください。子機の登録について詳しくは、増設子機の取扱説明書をご覧ください。増設子機の取扱説明書をダウンロードするには、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）にアクセスし、お使いの本体モデルの製品マニュアルページを参照してください。
[外線使用中]	親機またはその他の子機が通話中です。使い終わるのを待ってください。
[充電できません。もう一度セットしてください]	充電器に異物が付着している、または設置不良（すき間がある）の可能性あります。異物を取り除いて、子機をセットし直してください。
[通話圏外 親機に近づいてください]	親機の電源が入っているか、電波状態が良好か、確認してください。
[電源 Off]	子機の 外線 を押してください。 それでもメッセージが表示される場合は、子機の ID 登録をしておしてください。子機の登録について詳しくは、増設子機の取扱説明書をご覧ください。増設子機の取扱説明書をダウンロードするには、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）にアクセスし、お使いの本体モデルの製品マニュアルページを参照してください。
[＜電池残り少＞ 充電して下さい]	バッテリー残量が少なくなりました。子機を充電器に置いて充電してください。
[電話帳がいっぱいです]	電話帳に登録できる件数を超えています。不要な電話番号を消去してください。
[電話帳登録 登録がありません]	電話帳に登録してください。 操作方法については、このセクションの最後の関連情報をご覧ください：電話帳に登録する

エラーメッセージ	対応
[発信履歴無し]	発信履歴がありません。発信後、履歴が表示されるようになります。
[ファクス受信あり [クリア/音質] を押し て下さい]	ファクスを受信しました。子機の 音質 クリア を押すとファクス受信ランプ の点滅が消えます。親機で新着ファクスを確認してください。

関連情報

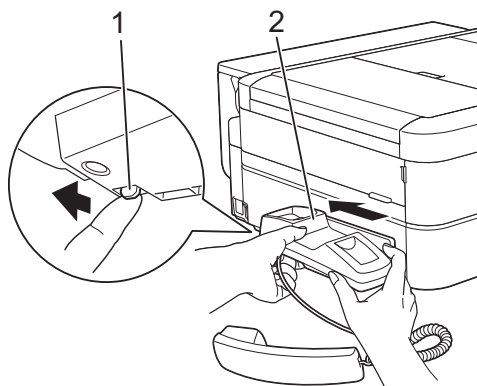
- 用紙サイズと用紙タイプを変更する ▶▶ 10
- 電話／ファクス回線種別を設定する ▶▶ 18
- 電話帳に登録する ▶▶ 23
- ナンバーディスプレイサービスを利用する ▶▶ 30
- 給紙ローラーを清掃する ▶▶ 44
- 消耗品のご案内 ▶▶ 62

受話器（親機）を取り外す

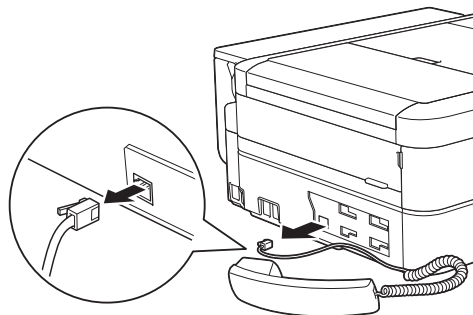
受話器を使用しない場合は、以下の手順で受話器台を取り外すことができます。

- 1 受話器を外し、受話器台底面のつまみ（1）を手前に引いて受話器台（2）を本体から外します。

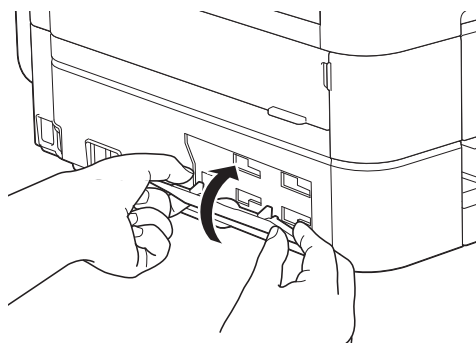
受話器台は、本体に沿わせたまま、後ろに向かってゆっくりスライドさせてください。



- 2 本体から受話器コードを抜きます。



- 3 受話器台取り付け口カバーをつけます。

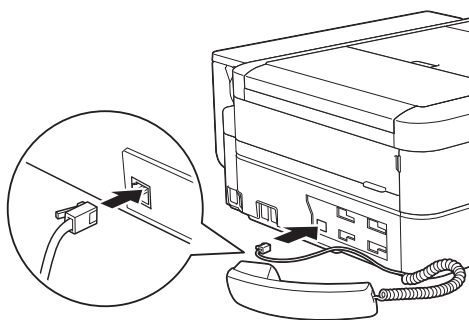


受話器台を取り付ける

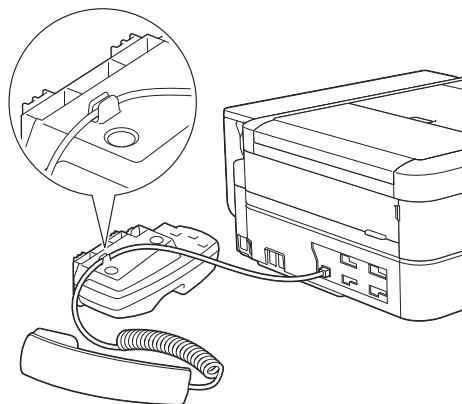
外した受話器台を取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

- 1 受話器台取り付け口カバーを外します。
手で外すのが難しい場合は、コインなどを差し込んで外してください。

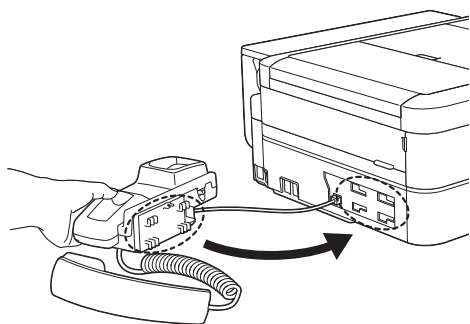
- 2 受話器コードを本体に接続します。



- 3 受話器コードを受話器台に差し込みます。

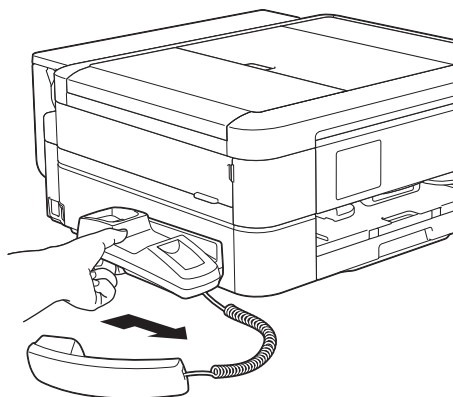


- 4** 受話器台の4ヶ所のフックを本体の穴に差し込みます。



- 5** 受話器台を手前にスライドさせて固定します。

受話器台は、本体にしっかり押し付けながら、ゆっくりスライドさせてください。



子機のバッテリーを交換する

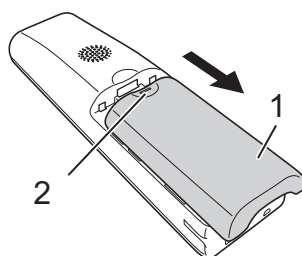
子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。交換の目安は約1年です。交換バッテリー（型名：BCL-BT30）は、本製品をお買い上げの販売店でお買い求めください。

⚠ 注意

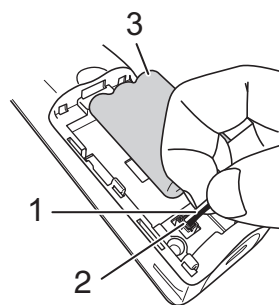
バッテリーは、誤った取り扱いをしないようご注意ください。必ず、別冊の「安全にお使いいただくために」の「バッテリーの取り扱い」をお読みください。

- 1** バッテリーカバー（1）を外します。

バッテリーカバーのくぼみ部分（2）を押しながら、矢印の方向へずらしします。後端部を持ち上げて、バッテリーカバーを外します。

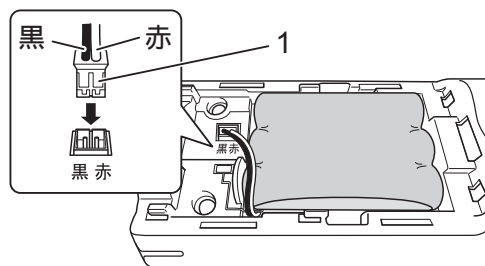


- 2** バッテリーコード（1）の根元を持ってコネクタ（2）を上に取り抜き、バッテリー（3）を取り出します。



- 3** 新しいバッテリーを子機に入れます。

- 4** バッテリーコードの黒/赤の方向が刻印に一致するように、コネクタ（1）を差し込みます。



- 5** バッテリーカバーを閉めます。

コードをはさまないように注意してください。



バッテリーを交換したら、必ず12時間以上充電してください。

お願い

バッテリーには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。

- ビニールカバーは剥がさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

使用済み電池の届け出



Ni-MH

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼ってからポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

1. ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収 BOX に入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記をお願いします。

- 一般社団法人 JBRC
ホームページ：www.jbrc.com
- ブラザー販売（株）ブラザーコールセンター
ブラザーコールセンターの詳細については、「関連情報」をご覧ください。

2. 事業所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記をお願いします。

- ブラザー販売（株）東京事業所
電話：03-3272-0351
- ブラザー販売（株）関西事業所
電話：06-6310-8863
- ブラザー販売（株）ブラザーコールセンター
ブラザーコールセンターの詳細については、「関連情報」をご覧ください。

関連情報

- ブラザーコールセンター >>> 63

本製品を初期状態に戻す

- 1  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [設定リセット] を押します。
- 2 使用したいリセットのオプションを押します。
- 3 [OK] を 2 秒以上押して本製品を再起動します。

リセット機能の概要

以下のリセット機能があります。

1. [機能設定リセット]

日時や呼出ベル回数等、変更したすべての設定をリセットすることができます。

電話帳、ファクスレポート、発信履歴・着信履歴は残ります。

2. [ネットワーク設定リセット]

パスワードや IP アドレス情報など、プリントサーバーをお買い上げ時の設定に戻します。

3. [電話帳&ファクスリセット]

電話帳&ファクスリセットでは、次の設定がリセットされます。

- 電話帳とグループダイヤルの内容
- メモリー内にプログラムされているファクスジョブ
タイマー送信、とりまとめ送信
- 発信元登録
名前、電話番号
- ファクス転送の設定
- レポート
送信結果レポート、電話帳、通信管理レポート
- 履歴

着信履歴リスト、発信履歴

- ・メモリー内のファクス

4. [全設定リセット]

本製品のすべての設定をお買い上げ時の設定に戻すには、全設定リセットを使用します。

本製品を廃棄するときにこの操作を実行することを強くお勧めします。



(MFC-J998DN/MFC-J998DWN)

[ネットワーク設定リセット] または [全設定リセット] を選択する前に、インターフェイスケーブルを抜きます。

子機の個人情報を消去する

子機電話帳の内容、発信履歴、着信履歴を消去します。

お願い

子機電話帳の内容は、いったん初期化すると元に戻すことができないのでご注意ください。また、子機電話帳単独では、リストを印刷したり、データを保存することはできないため、子機の電話帳データを残したいときは、いったん複合機本体に転送してください。

⇒ユーザーズガイド 応用編「子機の電話帳を本製品（親機）に転送する」



- ・子機で変更した各種設定の値や日付などは初期化できません。
- ・子機の電話帳や履歴を削除しても、親機には反映されません。

1 子機の     を続けて押します。

[個人情報 消去？／1.スル 2.シナイ]と表示されます。

2  を押します。

[全て消去？／1.スル 2.シナイ 番号を入力]と表示されます。

3 もう一度  を押します。

個人情報が消去されます。

4  を押します。

子機を増設する／登録抹消する

別売りの増設子機をご使用いただくときに必要な設定です。設定終了後、増設した子機が使えるようになります。MFC-J738DWN/MFC-J998DWN は 2 台、MFC-J738DN/MFC-J998DN は 3 台の子機を増設することができます。付属の子機とあわせ、本製品で利用できるのは最大 4 台です。

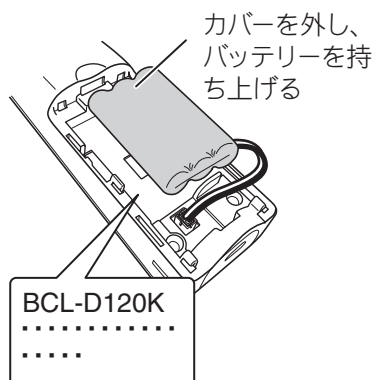
使用していた子機を廃棄する場合は、本製品でいったんすべての子機の登録を抹消します。その後、残す子機であらためて増設の設定を行ってください。

増設/ 抹消の操作方法については、増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。増設子機の取扱説明書をダウンロードするには、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（support.brother.co.jp）にアクセスし、お使いの本体モデルの製品マニュアルページを参照してください。



- 増設子機 (BCL-D120K-BK (黒)、BCL-D120K-WH (白)) は別売りです。本製品をお買い上げの販売店または弊社ダイレクトクラブでお買い求めください。
- BCL-D120K-BK、BCL-D120K-WH 以外の子機は増設することができません。子機の型番の調べ方は下図をご覧ください。

◀子機型番の調べ方▶



文字入力について

親機

文字入力が必要な機能ではタッチパネルにキーボード画面が表示されます。

- キーボードのレイアウトは、操作によって異なる場合があります。



- あA 1 @ を押して文字、数字、特殊記号を切り替えます。
- ⇧aA を押して小文字と大文字を選択します。
- カーソルを左右に動かすには、◀または▶を押します。
- 1文字削除する場合は、✕ を押します。すべての文字を削除する場合は ✕ を長押しします。

子機

ダイヤルパッドを使って文字や数字を入力します。電話番号や文字は以下の操作で入力します。

入力文字の種類を切り替える

- 発信履歴/P (文字) を押す

英数字→カタカナ→ひらがなの順で切り替わります。

文字・記号を入れる

- 0 わ ~ 9 ら、* 記号1 (トーン)、# 記号2 を押す

未確定のひらがなを漢字に変換する

- 変換 + を押す

入力例：「鈴木」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
発信履歴/P (文字) を押して、ひらがな入力モードにする	
3 (さ DEF) を3回押す	す
+ を1回押す	す
3 (さ DEF) を3回押す	すす
* 記号1 (トーン) を1回押す	すす
2 (か ABC) を2回押す	すすき
希望の漢字が表示されるまで、変換 + を繰り返し押す (上を押すと前の候補に戻り、下を押すと次の変換候補に進む)	鈴木 スズキ 鱸 すすき
機能確定 を押す	鈴木

文字を削除する

- + を押して削除したい文字までカーソルを移動し、音質1 (クリア) を押す

文字を変更する

- + を押して変更したい文字までカーソルを移動し、文字を削除して入力し直す

文字確定後にカーソルを戻して、文字間に 1 つスペースを入れる

-  を 1 回押す

文字確定後、次の文字の前にスペースを入れる

-  を押す（1 スペース入力の場合のみ
 1 回押しも有効）

記号を入力する

- 入力したい記号キー（ または ）を押して記号を選ぶ

同じキーで続けて文字を入力する

-  を押して、カーソルを 1 文字分移動させて入力する

入力した内容を確定させる

-  を押す

文字入力について、詳しくはユーザーズガイド
応用編をご覧ください。

消耗品のご案内

消耗品	インクや用紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。純正品は、弊社公式直販サイト「ブラザーダイレクトクラブ」でもご購入になれます。 ブラザーダイレクトクラブ 検索 お電話によるご注文 フリーダイヤル：☎0120-118-825 (土・日・祝日、弊社指定休日を除く 9時～12時、13時～17時) direct.brother.co.jp 
インクカートリッジ	<ブラック (黒) > LC3111BK <イエロー (黄) > LC3111Y <シアン (青) > LC3111C <マゼンタ (赤) > LC3111M <4 個パック(ブラック/ イエロー/ シアン/ マゼンタ 各 1 個) > LC3111-4PK <黒 2 個パック(ブラック 2 個)> LC3111BK-2PK
インクカートリッジの寿命	本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2 回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
	印刷品質を安定させ、“きれい”を最大限に引き出すために、ブラザー純正インク「イノベラ」のご使用をおすすめします。

消耗品はブラザー純正品をお使いください

印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。(純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。) 純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

www.brother.co.jp/product/original/index.htm

アフターサービスのご案内

製品登録

Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。

オンラインユーザー登録 ▶ <https://online.brother.co.jp>

各種サポート情報

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー

support.brother.co.jp

» 故障・トラブルかんたん診断 ブラザーサポートナビ

24 時間対応のオンラインサービスです。選択肢に沿って進むことで、解決策が見つかります。万一、故障と診断された場合は、そのまま修理を申し込むことができます。

<https://myportal.brother.co.jp/snavi/SelectModel.aspx>



ブラザーコールセンター

0570-061015

ファクスや電話等の通信に関するトラブルの場合は、本製品を電話回線に接続して動作テストを行います。お問い合わせの際は、携帯電話などをご利用くださいますようお願いいたします。

受付時間：月～土 9:00～18:00 日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

※本書に乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンターにご連絡ください。

安心と信頼の修理サービス

- ・製品ご購入後 1 年間無料保証いたします。

※この場合、修理料金を無償とし、運送料を含むその他費用はお客様の負担となります。

- ・コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48 時間以内に故障機の回収。

※一部地域を除く

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。

※本製品を修理にお出しいただくときは、ユーザーズガイド 応用編の「本製品を輸送するときは」をご覧ください。

- ・5 日以内に修理品を返送。

弊社到着後、5 日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。



ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/product/support_info/recycle/ink/index.htm



D013VC001-00
JPN
Version 0